

男女ハートフル共生プラン  
～茂原市男女共同参画計画（第3次）～

令和2年度事業評価報告書

茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会  
茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会

# 目次

- ◆ はじめに . . . 1
- ◆ 1. 茂原市男女共同参画計画（第3次）推進体制 . . . 1
- ◆ 2. 茂原市男女共同参画計画（第3次）の評価の方法 . . . 3
- ◆ 3. 事業評価スケジュール . . . 4
- ◆ 4. 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会からの提言・要望 . . . 5
- ◆ 令和2年度事業一覧 . . . 6
- ◆ 事業評価シート No.1～60 . . . 9

## はじめに

今日、少子高齢化が過去に例を見ないほどのスピードで進展し、また、市民生活を取り巻く社会経済環境は目まぐるしく変化しています。労働形態や家族形態も様変わりし、個々のライフスタイル・価値観も多様化しています。このような中、性別にとらわれずお互いを尊重し合い、一人ひとりが職場・家庭・地域等において責任と喜びを分かち合う「男女共同参画社会」の実現は、わが国における最重要課題の一つとされています。

茂原市では、平成28年3月に「男女ハートフル共生プラン～茂原市男女共同参画計画（第3次）～」を策定し、男女共同参画施策の推進に取り組んでおります。

計画の進行管理については、毎年度、事業の進捗状況について、担当課による1次評価（自己評価）、庁内組織である「茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会（以下、「推進委員会」という）」による2次評価及び市民で構成される「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会（以下、「協議会」という）」による3次評価（外部評価）を実施しています。

外部評価を行うことにより、評価の透明性が確保され、市民目線も取り入れた男女共同参画施策がさらに効果的に推進されることが期待できます。

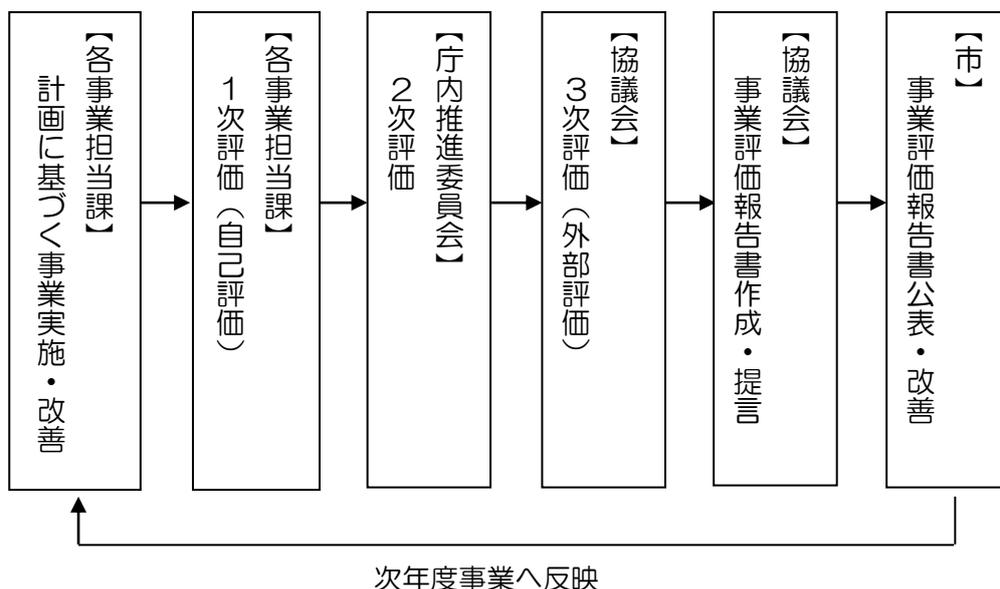
令和2年度の事業評価にあたり、2次評価では46事業<sup>\*</sup>を、3次評価（外部評価）では46事業のうち25の重点評価事業について、重点的に評価を行いました。

この「令和2年度 事業評価報告書」は、計画に掲げる施策を推進するため、プランに掲げた各事業の「実施結果及び次年度の取り組み」とともに推進委員会及び協議会が行った事業評価を一体的に掲載したものであり、各事業担当課において施策の見直しや方向性について協議・検討を行い、次年度以降の取り組みに反映できるようにすることを目指し提言するものです。

<sup>\*</sup>第3次計画は全60事業ありますが、令和2年度に計画の見直しを行い、一部の事業を評価対象外としました。

## 1. 茂原市男女共同参画計画推進体制

### ◆ 茂原市男女共同参画計画 推進体制連携図



◆「茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会」（庁内組織）16名

茂原市役所内各部から男女1名ずつ選出された委員で構成され、茂原市男女共同参画計画に基づく施策の進行管理と男女共同参画に関する意識啓発を行う委員会

＜茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会委員＞

氏名	所属	役職
伊藤 聡美	総務部	委員
緑川 公次		委員
築瀬 了也	企画財政部	委員
内山 栄美		副委員長
寺田 菜央	市民部	委員
加賀谷 圭一		委員
河合 祐憲	福祉部	委員
秋葉 友理		委員
鈴木 波	経済環境部	委員
酒井 大樹		委員
板倉 里奈	都市建設部	委員
田中 稜一郎		委員
中村 香織	教育部	委員
大多和 新士		委員
中村 真瞳	議会・農業委員会・選挙管理	委員長
小川 典子	委員会・監査委員 事務局	委員

【任期1年：令和3年4月1日～令和4年3月31日】

◆「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会」（外部組織）9名

茂原市における男女共同参画社会の実現を目指し、男女共同参画の総合的推進を図る組織として市民で構成された協議会

＜茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員＞

氏名	役職	区分
大塚 節子	会長	学識経験者
丸岡 一人	副会長	一般公募
関 洋子	委員	関係諸団体の代表者
原田 佑介	委員	関係諸団体の代表者
森川 礼子	委員	関係諸団体の代表者
及川 哲子	委員	一般公募
白土 和子	委員	一般公募
永沼 洋子	委員	一般公募
上村 俊一	委員	一般公募

【任期2年：令和3年4月1日～令和5年3月31日】

## 2. 茂原市男女共同参画計画（第3次）の評価の方法

「茂原市男女共同参画計画（第3次）」では、男女共同参画を推進するため、市が取り組むべき事業として60事業を掲げ、50事業について指標（数値目標）を設けています。令和2年度に計画の見直しを行い、60事業のうち46事業を継続して取り組んでいます。また、新規に加える事業については令和3年度以降に実施する第4次計画に盛り込まれています。基本計画の進捗状況の評価にあたっては、事業担当課による1次評価（自己評価）、庁内組織の「男女共同参画社会づくり推進委員会」による2次評価を行い、続いて全事業のうちから抽出された重点評価事業について、外部組織である「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会」が3次評価（外部評価）を行い、「令和2年度事業評価報告書」としてまとめました。

### ①評価の方法

評価者	判定区分
<p><b>1次評価（総合評価）</b></p> <p>【各事業担当課】</p> <p>茂原市男女共同参画計画（第3次）に掲げられた事業について、「事業評価シート」により <u>1次評価（自己評価）</u> を実施</p>	<p>【総合評価基準】</p> <p>A：十分な成果を上げた （達成度8割以上）</p> <p>B：ある程度の成果を上げた （達成度4割～7割）</p> <p>C：事業の対象や見直しが必要 （達成度3割以下）</p>
<p><b>2次評価（総合評価）</b></p> <p>【茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会】 （市役所内組織）</p> <p>全事業について、事業担当課から提出された「事業評価シート」により <u>2次評価</u> を実施</p>	<p>【項目評価基準】</p> <p>4：十分達成している （90%以上）</p> <p>3：概ね達成されている （70%以上）</p>
<p><b>3次評価（総合評価・項目評価）</b></p> <p>【茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会】 （外部組織）</p> <p>推進委員会の評価後、重点評価事業について、「事業評価シート」により <u>3次評価</u> を実施</p>	<p>2：達成が半ばであり改善を要する （50%以上）</p> <p>1：不十分である （50%未満）</p>
<p>事業評価報告書を作成し、市へ提出</p>	

### 3. 事業評価スケジュール

#### 茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会

- ◆第1回（令和3年5月20日開催）
  - ・委員長、副委員長の選出
  - ・茂原市における男女共同参画の取り組みについての研修
  - ・令和2年度事業評価
- ◆第2回（令和3年5月26日開催）
  - ・令和2年度事業評価

#### 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会

- ◆第1回（令和3年4月19日開催）
  - ・委嘱及び会長、副会長の選出
  - ・茂原市における男女共同参画の取り組みについての研修
  - ・令和2年度事業評価
- ◆第2回（令和3年6月25日開催）
  - ・令和2年度事業評価
- ◆第3回（令和3年7月16日開催）
  - ・令和2年度事業評価
- ◆第4回（令和3年10月28日開催）
  - ・令和2年度事業評価
- ◆第5回（令和3年12月14日開催）
  - ・令和2年度事業評価

## 4. 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会からの提言・要望

### (1) 事業評価結果と今後について

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、また感染が長引く中、多くの事業においてその達成が困難な状況にありました。しかし、そのような中でも、出来ることを行い、結果を出した事業もありました。年々増加している災害や感染症の影響も踏まえて、更なる事業の見直しが必要とされています。

令和2年度事業評価については、その結果を公表するとともに、各事業担当課において施策の見直しや方向性について協議・検討を行い、次年度以降の各課の事業実施に反映するようにお願いします。

令和3年度からは、「男女ハートフル共生プラン～茂原市男女共同参画計画(第4次)～」に沿った事業が展開されています。茂原市の状況や社会情報の変化を鑑み、事業が実施されることを望みます。

### (2) 茂原市におけるさらなる男女共同参画の推進について

「男女共同参画社会」を実現するには、行政だけでなく、企業、各団体、そして市民が一体となり取り組むことが不可欠です。意識は徐々に浸透してきていますが、依然として、政策・方針決定の場や社会・家庭環境等で男性優位の傾向が見られます。正しく男女共同参画を理解し、改革していくことが望まれます。女性も一歩踏み出し、自ら行動する意思を持ち、男女で協力して生きていく姿勢が求められます。

感染症の終息が見えない中、家庭内の問題も深刻化・顕在化しています。家庭内暴力、児童虐待、失業、そして貧困等の問題が、女性や子どもをはじめとする社会的弱者に集中しています。子育て支援課等の福祉担当課に様々な相談が寄せられるため、専門の資格を持つ職員の配置も必要と思われるます。

### (3) 「男女共同参画推進室」の設置について

「男女共同参画社会づくり」は、国の最重要課題の一つです。SDGs「持続可能な開発目標」においても、「ジェンダー平等の実現」は世界が取り組むべき目標の一つとして掲げられています。

茂原市も、「市民一人ひとりが老若男女問わず個性と能力を十分に発揮し、自分らしく生きることができる男女共同参画社会」の実現を目指し、様々な取り組みを行ってきました。現在は道半ばですが、これを実現するため、商業、農産業、福祉、子育て、防災等、多様な分野に渡る課題について、対応・調整をする「男女共同参画推進室」の設置が必要です。今まで手が届かなかった企業や事業所、教育現場、地域社会に向けた啓発活動の充実も図っていく必要があります。

「男女共同参画推進室」を設置し、国や県の方針に従うだけでなく、茂原市から国や県を動かすような積極的な行動をしていくことが必要だと思えます。

茂原市をさらに魅力ある先進的な自治体にするために、是非ご検討下さるようお願いいたします。

# 令和2年度事業一覧

評価指標

**A:**十分な成果を上げた（達成度8割以上）

**B:**ある程度の成果を上げた（達成度4割～7割）

**C:**事業の対象や見直しが必要（達成度3割以下）

事業No.	事業名	担当課	重点評価事業	基本目標	主要課題	施策の方向	1次評価	2次評価	3次評価
1	人権に関する教育および意識啓発の推進	生活課	○	I 人権の尊重	I-1 人権尊重意識の啓発	I-1(1)人権を守るための社会づくり	C	C	C
2	職場におけるセクハラ・パワハラ等防止の促進	商工観光課	○	I 人権の尊重	I-1 人権尊重意識の啓発	I-1(1)人権を守るための社会づくり	C	C	C
4	市民相談・人権相談に対する適切な対応	生活課	○	I 人権の尊重	I-1 人権尊重意識の啓発	I-1(2)相談体制の拡充	C	B	B
5	児童生徒の悩みに対する相談体制の充実	学校教育課		I 人権の尊重	I-1 人権尊重意識の啓発	I-1(2)相談体制の拡充	A	A	/
6	男女共同参画に関する講演会や講座等の開催	企画政策課	○	I 人権の尊重	I-2 男女平等の意識づくり	I-2(1)男女平等意識啓発の推進	B	C	B
7	男女共同参画に関する意識啓発	企画政策課	○	I 人権の尊重	I-2 男女平等の意識づくり	I-2(1)男女平等意識啓発の推進	B	C	C
8	男女共同参画に関する市職員研修の実施	職員課		I 人権の尊重	I-2 男女平等の意識づくり	I-2(1)男女平等意識啓発の推進	B	B	/
11	地域活動における男女共同参画の促進	生活課		I 人権の尊重	I-2 男女平等の意識づくり	I-2(2)地域・家庭・職場における男女平等意識啓発の推進	B	B	/
12	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女平等に関する保育・教育の推進	子育て支援課	○	I 人権の尊重	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進	B	C	B
12	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女平等に関する保育・教育の推進	学校教育課		I 人権の尊重	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進	B	B	/
16	DVに関する相談窓口等の充実と周知徹底	子育て支援課		II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	B	B	/
18	DV防止に関する意識啓発	子育て支援課		II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	B	B	/
19	障害者（児）の虐待防止	障害福祉課		II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	A	A	/
20	DV対策について関係機関との連携の強化	子育て支援課		II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(2)被害者に対する支援、相談の充実	A	B	/
23	男女共同参画によるまちづくりの推進と審議会等委員への女性参画の拡大	企画政策課		III 様々な分野における男女共同参画	III-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	III-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	A	B	/
25	市女性職員の登用の推進	職員課		III 様々な分野における男女共同参画	III-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	III-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	B	B	/
26	市女性職員の能力開発のための研修への参加機会の確保・拡大	職員課		III 様々な分野における男女共同参画	III-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	III-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	B	B	/
27	男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知と積極的取り組み（ポジティブ・アクション）の促進	商工観光課	○	III 様々な分野における男女共同参画	III-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	III-1(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の推進	C	B	B
28	就労を希望する女性の再チャレンジ支援	商工観光課		III 様々な分野における男女共同参画	III-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	III-1(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の推進	B	A	/
31	父親の子育てに関する学習機会の提供	生涯学習課	○	IV ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	IV-1 家庭における男女共同参画	IV-1(1)家庭生活における男女共同参画の促進	C	B	B
32	妊娠期の健康管理・育児に関する学習機会の提供	健康管理課		IV ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	IV-1 家庭における男女共同参画	IV-1(1)家庭生活における男女共同参画の促進	B	A	/
33	男性の家庭参画を促す講座等の実施	東部台文化会館	○	IV ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	IV-1 家庭における男女共同参画	IV-1(1)家庭生活における男女共同参画の促進	C	C	C
34	乳幼児相談・検診事業の充実	健康管理課		IV ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	IV-1 家庭における男女共同参画	IV-1(1)家庭生活における男女共同参画の促進	B	A	/

事業No.	事業名（具体的取り組み）	担当課	重点評価事業	基本目標	主要課題	施策の方向	1次評価	2次評価	3次評価
36	子育て支援に関する情報提供	子育て支援課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実	A	A	
37	子育てに関する相談業務の充実	子育て支援課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実	A	A	
38	多様な働き方を支援するための保育サービスの拡充	子育て支援課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実	B	B	
39	放課後等の子どもの居場所づくり	子育て支援課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実	A	A	
41	高齢者の総合相談窓口の充実	高齢者支援課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(3)介護支援の充実	A	A	
42	認知症高齢者と家族等への支援の充実	高齢者支援課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(3)介護支援の充実	B	B	
43	市民へのワーク・ライフ・バランスの推進	企画政策課	○	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-2 労働の場における男女共同参画	Ⅳ-2(1)ワーク・ライフ・バランス意識の浸透	B	C	B
44	事業所へのワーク・ライフ・バランスの推進	商工観光課	○	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-2 労働の場における男女共同参画	Ⅳ-2(1)ワーク・ライフ・バランス意識の浸透	C	C	C
45	市職員へのワーク・ライフ・バランスの推進	職員課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-2 労働の場における男女共同参画	Ⅳ-2(1)ワーク・ライフ・バランス意識の浸透	B	B	
46	農業における女性グループ活動の支援と女性起業の育成	農政課	○	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-2 労働の場における男女共同参画	Ⅳ-2(4)農業・自営業等における男女共同参画の促進	C	C	C
47	農業における家族経営協定締結の促進	農政課	○	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-2 労働の場における男女共同参画	Ⅳ-2(4)農業・自営業等における男女共同参画の促進	C	C	C
48	高齢者の自主活動への支援	高齢者支援課	○	Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅴ-1(1)高齢者・障害者施策の充実	B	C	C
49	障害者（児）の地域生活支援の充実	障害福祉課	○	Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅴ-1(1)高齢者・障害者施策の充実	A	A	B
50	障害者（児）の相談事業の充実および社会復帰の促進	障害福祉課	○	Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅴ-1(1)高齢者・障害者施策の充実	A	A	B
51	精神保健相談の実施および社会復帰の支援	健康管理課	○	Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅴ-1(1)高齢者・障害者施策の充実	B	B	B
52	男女共同参画の視点を取り入れた防災対策の充実	防災対策課	○	Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅴ-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進	B	B	B
53	自主防災組織の育成	防災対策課	○	Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅴ-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進	B	B	B
54	地域防犯体制の充実	生活課	○	Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅴ-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進	A	B	B
55	自らの健康を自ら管理する意識づくりについての啓発	健康管理課	○	Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅴ-2(1)生涯を通じた健康支援	B	B	B
56	人生の各段階に応じた健康相談と家庭訪問の実施	健康管理課	○	Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅴ-2(1)生涯を通じた健康支援	B	B	B
57	市民参加の健康づくりの推進	健康管理課	○	Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅴ-2(1)生涯を通じた健康支援	B	B	B
58	スポーツを通じての健康増進	体育課	○	Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅴ-2(1)生涯を通じた健康支援	C	C	C
60	安心して妊娠・出産するための支援	健康管理課	○	Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅴ-2(2)安心して妊娠・出産できる環境づくり	A	A	A

	1次 評価	2次 評価	3次 評価
<b>A</b> 十分な成果を上げた（達成度8割以上）	12	12	1
<b>B</b> ある程度の成果を上げた（達成度4割～7割）	24	22	15
<b>C</b> 事業の見直しが必要（達成度3割以下）	10	12	9

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	1	基本目標	I 人権の尊重
事業名	人権に関する教育および意識啓発の推進	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	生活課	施策の方向	I-1(1)人権を守るための社会づくり

A C T (改善)	<b>R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲</b>
	子どもたちに思いやりやいたわりの大切さを伝えるため、引き続き、小・中学校の人権教室、人権紙芝居を実施し、人権尊重意識の教育や啓発に努める。

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた具体的取り組み計画</b>
	人権擁護委員による街頭啓発活動を行うとともに、小学校において人権教室を開催し、他人への思いやりやいたわりの大切さなどを伝える。また、小・中学生には人権に関する作品づくりを通じ豊かな人権感覚を身に付けてもらうとともに、児童生徒の作品展示を通して市民の人権尊重意識の啓発に努める。
	<b>第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)</b>
	<b>R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入</b>
	①市内小中学校における人権教室の実施 ②小中学校への人権ポスター原画・人権作文の依頼 ③夏期学童クラブへ人権「紙芝居」の実施

<b>R2年度の数値目標</b>	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)

D O (実施)	<b>R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)</b>						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>回数</th> <th>参加者数(男女別)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、①人権教室、②人権ポスター・作文の依頼、③人権紙芝居を実施することができなかった。 上記事業ができなかったため、小中学校1年生に人権パンフレット等を配布した。</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	内容	回数	参加者数(男女別)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、①人権教室、②人権ポスター・作文の依頼、③人権紙芝居を実施することができなかった。 上記事業ができなかったため、小中学校1年生に人権パンフレット等を配布した。	0	
	内容	回数	参加者数(男女別)				
	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、①人権教室、②人権ポスター・作文の依頼、③人権紙芝居を実施することができなかった。 上記事業ができなかったため、小中学校1年生に人権パンフレット等を配布した。	0					
	<b>R2年度の数値成果</b>	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)		
<b>R2予算額(千円)</b>	<b>R2予算額(再掲の場合)</b>	<b>R2決算見込額</b>	<b>R3予算額</b>				
0	0	0	0				

C H E C K (評価)	<b>【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>
	<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input checked="" type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すべての事業を実施できなかったため。 (課題・問題点)

A C T (改善)	<b>担当課による、次年度における取り組み予定</b>
	子どもたちに思いやりやいたわりの大切さを伝えるため、小中学校の人権教室、人権紙芝居を実施し、人権尊重意識の教育や啓発に努める。

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<p>(評価の根拠) 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が実施できていないため。</p> <p>(課題・問題点) パンフレット配布以外の効果的な啓発方法の検討が必要。</p>		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	1	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	1	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	1	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<p>・コロナ禍の影響により事業が実施されていないことは理解できるが、パンフレット配布以外の啓発方法が検討されていない。対応可能なものを工夫しようとの姿勢が見られない。</p> <p>・中学校への人権ポスター・作文の依頼はできたのではないかな。</p>		
改善策等の提言		
<p>・コロナ禍においては、今まで以上に「おもいやりやいたわり」の心は、大切になってくる。新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しつつ、施策を具体的に進めることが望まれる。</p> <p>・小中学生全員にタブレットが配当されている。それを利用して人権教室を配信するのはコロナ禍でも可能だと思ふ。</p> <p>・紙芝居より、動画等を作成またはすでにある動画を見せる方が伝わりやすいのではないかな？人権委員に要望してほしい。</p> <p>・どのような状況においても、毎年継続して行えるような啓発の方法の充実を望みます。</p>		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	2(商)	基本目標	I 人権の尊重
事業名	職場におけるセクハラ・パワハラ等防止の促進	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	商工観光課	施策の方向	I-1(1)人権を守るための社会づくり

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲
	国・県等の施策に関する情報を、市公式ウェブサイト上でさらに充実させ効果的に発信する。また、事業所に対し、効果的な情報発信を行う。

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画
	職場におけるセクハラ等防止について茂原商工会議所等の関係機関に要請するとともに、千葉労働局雇用環境・均等室や千葉県男女共同参画センターなどの相談窓口について情報提供を行う。また、市内事業所に対し、セクハラ等防止のための講座・研修等への参加を促進する。

P L A N (計画)	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)

P L A N (計画)	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①茂原商工会議所や他の関係機関と連携を図り、講習会等の機会を利用しセクハラ等防止に向けた意識啓発を図る。 ②セクハラ等の防止に関する情報提供のため、市公式ウェブサイト等を積極的に活用するとともに、関係機関のパンフレットを配布し周知に努める。

R2年度の数値目標	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
①各種セミナー・講習会等を活用した周知機会の創出 年3回以上			年5回	年3回

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)

内容	回数	参加者数(男女別)
①新型コロナウイルス感染症拡大などの影響により講習会等の開催ができなかったため、市公式ウェブサイトにおいて情報発信に努めた。 ②市公式ウェブサイトを体系的に整理し、施策等の情報発信に努めると共に、パンフレット等の配布やポスターの掲示により周知に努めた。		

R2年度の数値成果	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
①各種セミナー・講習会等を活用した周知機会の創出			5回	4回

R2予算額(千円)	R2予算額(再掲の場合)	R2決算見込額	R3予算額
0	0	0	0

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

C H E C K (評価)	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 国や県の施策の周知を市公式ウェブサイトにおいて、一元的に掲載した。 (課題・問題点) with、afterコロナ時代に対応した効果的な情報発信、講習会の開催方法の検討をする必要がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	国・県等の施策に関する情報を、市公式ウェブサイト上でさらに充実させ効果的に発信する。また防止策等に積極的な企業の取り組み等を情報発信する。

<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<p>(評価の根拠) 新型コロナウイルスの影響により、講演会等が実施できていないため。</p> <p>(課題・問題点) 事業所への周知について、より実効性のあるものを検討されたい。</p>		
<b>重点評価事業</b>		
<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	1	1…不十分である 【50%未満】
<b>総合評価とその判定理由</b>		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<p>講習会を行うことができなかったが、市公式ウェブサイト、パンフレット、ポスター等による情報発信を行うことができている。</p>		
<b>改善策等の提言</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策を徹底しつつ、講演会や講習会の開催に努められたい。その際、企業、事業主に多く参加してもらえるよう、イベントの広報にも工夫をされたい。</li> <li>・商工会議所等と連携して茂原独自のものを考えられないか？また、商工会議所だけではなく、女性会、青年部へも情報を伝える必要がある。</li> <li>・防止策等に積極的な企業の取り組み等を情報発信することはよいと思う。事例を紹介し実際の問題として考えてもらえるような取り組みを。</li> <li>・実効性のあるウェブ等の活用、事業所への積極的な取り組みを検討されたい。</li> <li>・各企業の社長を対象としたセミナーの開催を検討されたい。</li> </ul>		

CHECK (評価)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	4	基本目標	I 人権の尊重
事業名	市民相談・人権相談に対する適切な対応	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	生活課	施策の方向	I-1(2)相談体制の拡充

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲		
	毎日実施している市民相談に加え、人権擁護委員による月2回の相談、毎日実施している法務局の人権相談、電話による人権相談等の周知に努める。		

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画		
	市民から寄せられる相談は、年々増加するとともにその内容も複雑多様化していることから、人権相談をはじめとする各種相談について、関係各課及び国・県とも連携を図りながら、より迅速かつ適切に相談内容の解決に向けた取り組みの強化に努める。		

P L A N (計画)	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度~R2年度)における目標)		
	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入		

P L A N (計画)	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入				
	①人権相談所の開設(市役所12回、ほのおか館12回) ②広報への掲載(相談日案内12回、特設人権週間1回、女性の人権ホットライン1回) ③研修等の実施(茂原人権擁護委員協議会主催の定期総会(5月)、第2部会(6月)、全委員研修会(11月)、合同部会(2月)) ④市民相談				
R2年度の数値目標		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)						
	内容	回数	参加者数(男女別)				
①人権相談所の開設(市役所8回、ほのおか館6回) ②広報への掲載(相談日案内12回、特設週間1回、女性の人権ホットライン0回) ③研修等については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 ④市民相談(平日毎日) ⑤人権週間のポスター掲示及びチラシの配布、女性の人権ホットライン等のポスターの掲示		14回	2件(法務局・人権ホットラインは不明)				
		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)		
R2予算額(千円)		R2予算額(再掲の場合)		R2決算見込額		R3予算額	
1179		1179		1133		1116	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割~7割) <input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)		
(評価の根拠) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、相談会が中止になり、相談業務が思うようにできなかった。自粛により、電話相談の案内をした。			
(課題・問題点) コロナ禍で自粛規制がかかる中、電話による人権相談を案内しているが、周知の方法が難しい。			

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定		
	毎日実施している市民相談に加え、人権擁護委員による月2回の相談、法務局で毎日実施している人権相談、電話による人権相談等の周知に努める。		

【2次評価】推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
--	--	--

- A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)
  B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)
  C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)

(評価の根拠) 研修は実施できなかったが、市民相談は実施し、ある程度成果を上げたと思われる。

(課題・問題点) コロナ禍で相談が増えることが予想されるため、人権相談等の効果的な周知方法の検討が必要。

**【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点**

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

**総合評価とその判定理由**

- A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)
  B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)
  C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)

研修会、相談会はできなかったが、電話による相談については、その案内と実施に取り組んでおり、ある程度の成果をあげたと思われる。

**改善策等の提言**

・コロナ禍では、対面相談は難しいかもしれないが、少しでも、相談しやすいよう、雰囲気づくりをされたい。  
 ・コロナ禍で相談したいと思っている人は確実に増えていると思われる。広報紙での周知や、若い人向けに発信できる方法を考えて実施して欲しい。小中学校の連絡メール等を利用して保護者の皆さんに周知するのはどうか。また、ネットでの周知の強化も工夫されたい。  
 ・「自己評価」において、電話による人権相談の周知が難しかったとしているが、「改善」においては単に周知に努める旨記されているだけである。周知について、どう工夫するのか、具体的な検討が必要である。

CHECK (評価)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	5	基本目標	I 人権の尊重
事業名	児童生徒の悩みに対する相談体制の充実	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	学校教育課	施策の方向	I-1(2)相談体制の拡充

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲		
	<p>・実際の相談回数から、児童生徒及び保護者のニーズは非常に高く、今後もその存在が児童生徒の心のよりどころとなることは確かであるため、未配置校の解消に向けて取り組む。</p> <p>・心の教育相談員間での連携を図り、男女共同参画を踏まえた相談体制をさらに構築する。</p>		

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画			
	<p>スクールカウンセラー(県事業)や心の教室相談員の配置により、学校内における児童・生徒の悩みに対する相談体制について、男女共同参画の視点に配慮しながら整備充実を図る。また、中学校は、学校の状況と要望をふまえながら、毎年連続して同性のカウンセラーとならないように努める。</p>			
	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度~R2年度)における目標)			
	<p>(2) スクールカウンセラー配置校 10校</p> <p>(3) 心の教室相談員配置校 4校</p>			
	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入			

①スクールカウンセラーの配置[全中学校6校、小学校5校(東郷小、茂原小、五郷小、本納小、萩原小【県事業】)			
②心の教育相談員の配置[小学校4校(豊田小、中の島小、豊岡小、東部小)]			

R2年度の数値目標		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
(2) スクールカウンセラー配置校 11校		(2) 中学2校 小学2校	(2) 中学7校 小学3校	(2) 中学7校 小学3校	(2) 中学7校 小学4校
(3) 心の教室相談員配置校 4校		(3) 小学4校	(3) 小学4校	(3) 小学4校	(3) 小学4校

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	<p>①児童・生徒からの相談に対して傾聴し、一人ひとりの心に寄り添いながら個に応じた対応を心がけた。</p> <p>②相談体制の充実のために、在校日を児童生徒及び保護者に知らせ、相談活動の充実を図った。</p> <p>③小学校の未配置校において、相談の必要性が生じた場合は、中学校区で連携するとともに、サポート体制を強化した。</p>		<p>R2年度相談回数</p> <p>・小学校 775件</p> <p>・中学校 1182件</p> <p>1301人</p>			
	R2年度の数値成果		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
	<p>(2) スクールカウンセラー配置校 11校</p> <p>(3) 心の教室相談員配置校 4校</p>		(2) 小中学10校 (3) 小学4校	(2) 小中学10校 (3) 小学4校	(2) 小中学11校 (3) 小学4校	(2) 小中学11校 (3) 小学4校

R2予算額(千円)		R2予算額(再掲の場合)		R2決算見込額		R3予算額	
916				916		914	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割~7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<p>(評価の根拠)</p> <p>・小中学校における年間相談回数(合計1957件、2496人)</p> <p>・配置人数が、前年より1名増えたことで、児童生徒及び保護者のニーズにより答えることが出来た。</p> <p>(課題・問題点)</p> <p>・児童生徒の精神的なケアの観点から在校日を増やすことが必要である。</p>			

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定		
	<p>・実際の相談回数から、児童生徒及び保護者のニーズは高く、今後も児童生徒の心のよりどころとなるよう、未配置校の解消に向けて取り組む。</p>		

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input checked="" type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 相談件数が増加していること、相談員の配置人数が増えたこと等、計画どおり実施されている。		
	(課題・問題点) 未配置校の解消、在校日を増やすこと等により、相談業務の充実を図られたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)	
<b>改善策等の提言</b>			

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	6	基本目標	I 人権の尊重
事業名	男女共同参画に関する講演会や講座などの開催	主要課題	I-2 男女平等の意識づくり
課係名	企画政策課	施策の方向	I-2(1)男女平等意識啓発の推進

A C T (改善)	<b>R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲</b>
	男女共同参画について普段考えたことのない人にも興味を持ってもらい、初参加の人が増えるよう、身近で親しみやすいテーマから男女共同参画についてアプローチした講演会・講座を開催する。また、今年度同様、幅広い世代に参加してもらえるよう、働く世代へ配慮した土日の開催や、子育て世代へ配慮した無料託児を実施する。

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた具体的取り組み計画</b>
	男女共同参画に関する意識啓発、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進などをテーマとした講演会や講座等を開催するとともに、県や関係各課との連携を図り、市民に対する意識啓発を図る。講演会や講座の開催にあたっては、開催日時やテーマ・託児などに配慮し、幅広い年代の、より多くの方に参加していただけるよう努める。

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)</b>
	(4) 講演会・講座等の開催回数 5回以上(年1回以上)
	(5) 参加者数 500人以上(年100人以上)

P L A N (計画)	<b>R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入</b>
	①ハートフルフェスタ実行委員会と協働し、男女共同参画に関する講演会・講座等を開催する。 ②働く世代も参加しやすい土日の開催および、子育て世代への配慮として無料託児を実施する。

<b>R2年度の数値目標</b>		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
(4) 講演会・講座等の開催回数 年2回		(4)年2回	(4)年2回	(4)年2回	(4)年2回
(5) 参加者数 500人以上 年200人		(5)年200人	(5)年200人	(5)年200人	(5)年200人

D O (実施)	<b>R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入(添付書類 有・無)</b>						
	内容		回数	参加者数(男女別)			
	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、講演会・講座の開催を来年度の5月・6月に延期したため、今年度の実施はなし。来年度の講演会・講座に向け、会議を開催した。		①0回	①0人			
	②開催日については未定。今後の会議で土日の開催および無料託児を実施できるよう検討を進める。						
	<b>R2年度の数値成果</b>		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)	
	(4) 講演会・講座等の開催回数 0回		(4)年2回	(4)年4回	(4)年4回	(4)年5回	
(5) 参加者数 0人		(5)年229人	(5)年239人	(5)年296人	(5)年366人		
<b>R2予算額(千円)</b>		<b>R2予算額(再掲の場合)</b>		<b>R2決算見込額</b>		<b>R3予算額</b>	
50				0		50	

C H E C K (評価)	<b>【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 今年度の開催はできなかったものの、来年度の開催に向けて会議を開催し、内容を検討した。 (課題・問題点) 男女問わず、また幅広い世代に参加してもらえるような講演会のテーマ・内容の設定が必要。		

A C T (改善)	<b>担当課による、次年度における取り組み予定</b>
	幅広い世代・性別に男女共同参画について興味を持ってもらえるよう、講演会・講座の内容を親しみやすいものに設定する等工夫をする。また、広報、自治会回覧、公共施設でのチラシ配布等、より多くの人に参加してもらえるよう幅広い周知を図る。

<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<p>(評価の根拠) 新型コロナウイルスの影響により、講演会・講座等が実施できていない。</p> <p>(課題・問題点) 職場への出張講座等の実施により、若い世代にも参加してもらえるよう努められたい。</p>		
<b>重点評価事業</b>		
<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】
<b>総合評価とその判定理由</b>		
<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<p>・コロナの影響は仕方ないが、講演会、講座を開催することができなかった。</p> <p>・数値目標が低すぎる。</p>		
<b>改善策等の提言</b>		
<p>・新型コロナウイルス感染症の防止対策を徹底した上で、開催に向けた工夫が求められる。少人数での開催方法(ズームも含めて)を検討してみてはどうか。テーマによっては参加者の年代を制限しての開催もありと思う。</p> <p>・「改善」に記されているように、開催するにあたっては、多くの人に興味を持ってもらえるようにするため、内容・講師の工夫が必要である。また、男性の参加が多くなるよう、イベントの広報に工夫が求められる。</p> <p>・土日開催、無料託児の他に夕方、夜の開催も検討されたい。</p>		

CHECK (評価)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	7	基本目標	I 人権の尊重
事業名	男女共同参画に関する意識啓発	主要課題	I-2 男女平等の意識づくり
課係名	企画政策課	施策の方向	I-2(1)男女平等意識啓発の推進

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲		
	今年度作成したDVに関する啓発パンフレットについては引き続き機会あるごとに配布する。昨年度茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会から提言のあった男女共同参画に関するパンフレット作成の予算については獲得できず、また、国や県等が作成しているパンフレットと内容が重複するため、市独自のパンフレットは作成しないが、引き続きコスモスサロンや茂原市ハートフルフェスタ等の市主催行事のチラシに男女共同参画に関する啓発の情報を含めるようにし、広く配布する。デートDVについての啓発チラシについても引き続き機会あるごとに配布する。市公式ウェブサイトの男女共同参画に関するページについても随時更新する。		

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画		
	男女共同参画に関する意識啓発のため、わかりやすく手にとりいただけるような情報紙やパンフレット等を作成し、あらゆる機会に配布するとともに、広報・ホームページ等を活用して定期的な情報発信に努める。		

P L A N (計画)	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)				
	(6) 意識啓発リーフレット等の作成・配布枚数 目標: 30,000部(年6,000部)				
	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※簡条書きで具体的に記入				
	①広報・市公式ウェブサイト・自治会回覧等を利用し、男女共同参画について情報発信に努める。 ②茂原市ハートフルフェスタ実行委員会と協働で作成した意識啓発リーフレットを広く配布する。				
R2年度の数値目標		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
(6) 意識啓発リーフレット等の作成・配布枚数 年6,000部		(6)年2回 (6,000部)	(6)年2回 (6,000部)	(6)年2回 (6,000部)	(6)年2回 (6,000部)

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※簡条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)						
	内容		回数	参加者数(男女別)			
	①女性のための就職・起業支援、夫婦で行う家事に関する講座や、男女共同参画シンポジウムのチラシを、企画政策課窓口と情報公開コーナーに設置した。 広報・市公式ウェブサイト・自治会回覧での情報発信はできていない。 ②意識啓発リーフレットは昨年度作成したため、今年度は作成していない。 講演会等のイベントで配布予定だったが、来年度に延期となったため、配布できていない。		①5回以上				
	R2年度の数値結果		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)	
	(6) 意識啓発リーフレット等の配布枚数 0枚		(6)年4回 (5,600部)	(6)年5回 (13,500部)	(6)年4回 (8,400部)	(6)年5回 (6,500部)	
R2予算額(千円)		R2予算額(再掲の場合)		R2決算見込額		R3予算額	
0				0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 国・県の男女共同参画に関するパンフレットや、講座のチラシを窓口等へ設置した。 (課題・問題点) 講演会が来年度に延期になったため、リーフレット配布による意識啓発ができなかった。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定		
	引き続き、国・県の男女共同参画に関する意識啓発のためのパンフレットを広く配布する。また、ハートフルフェスタ実行委員会と協働で作成したパンフレットも、機会があるたびに配布する。		

<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<p>(評価の根拠) 意識啓発リーフレットの配布ができておらず、周知が十分でなかった。</p> <p>(課題・問題点) 市民の目につきやすい場所に設置するなど、より効果的な周知方法を検討されたい。</p>		
<b>重点評価事業</b>		
<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	1	1…不十分である 【50%未満】
<b>総合評価とその判定理由</b>		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識啓発リーフレットの配布ができていない。講演会ができなくても、目につく所に置くなど工夫して配ることはできたのでは。</li> <li>・国や県の作成するパンフレットや講座チラシは配布している。</li> </ul>		
<b>改善策等の提言</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市独自の企画に取り組む必要がある。</li> <li>・茂原市が男女共同参画に力を入れていることを市民に理解してもらうためには、やはり、茂原市独自のリーフレットの作成が必要。茂原市の意気込みが伝わるようなリーフレットの作成が望まれる。</li> <li>・情報発信に更に力を入れる必要がある。パンフレット・リーフレットは、企画課の窓口では市民の目にとまらない。もっと、積極的な工夫が必要だと思う。広報と一緒に配布することはできないか。</li> <li>・コロナ禍でも市民が出かけて行くような場所、例えばスーパー、病院などにパンフレットやリーフレットを置かせてもらう。数を決めて何枚取ってもらえたか、月1回確認する必要がある。</li> <li>・ウェブサイトの活用も必要と思われる。</li> </ul>		

CHECK (評価)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	8	基本目標	I 人権の尊重
事業名	男女共同参画に関する市職員研修の実施	主要課題	I-2 男女平等の意識づくり
課係名	職員課	施策の方向	I-2(1)男女平等意識啓発の推進

A C T (改善)	<b>R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲</b>
	職員の研修については、職員の通常業務の妨げにならない頻度で効果が大きいものに絞って実施する必要がある。男女共同参画に関する研修については、時代のテーマに沿った内容で実施できるよう改善するため、当事業に固執せず他事業と統合して計画をする方がよいと考える。

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた具体的取り組み計画</b>
	階層別職員研修のテーマに取り入れて男女共同参画の意識の啓発と理解の充実を図る。

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)</b>
	(7) 市職員対象の男女共同参画に関する研修の実施 5回以上(年1回以上)

P L A N (計画)	<b>R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入</b>
	全職員を対象に、新たに策定した「茂原市職員ハラスメント防止指針」に基づく研修を実施し、セクシュアル・ハラスメント及び妊娠、出産、育児又は介護に関するハラスメントの理解を深める。

<b>R2年度の数値目標</b>		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
(7) 市職員対象の男女共同参画に関する研修の実施	年1回	(7)年1回	(7)年1回	(7)年1回	(7)年1回

D O (実施)	<b>R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)</b>
	<b>内容</b>

D O (実施)	管理職研修(管理職以外の参加も可能) 「ハラスメントのない職場にするために～その言動、相手はどう受け止めますか～」 日時:令和2年10月1日 講師:株式会社ブレイン 加藤美香保(弁護士) 参加者:83名 内容:セクシャル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメントを含めたハラスメント全般の防止について	回数	参加者数(男女別)
		1日3回	83人 (男57人・女26人)

<b>R2年度の数値成果</b>		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
(7) 市職員対象の男女共同参画に関する研修の実施	年1回	(7)年1回	(7)年1回	(7)年1回	(7)年1回

<b>R2予算額(千円)</b>	<b>R2予算額(再掲の場合)</b>	<b>R2決算見込額</b>	<b>R3予算額</b>
0		110	397

C H E C K (評価)	<b>【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)

C H E C K (評価)	(評価の根拠) 令和2年6月に制定した「茂原市職員ハラスメント防止指針」に基づく研修を実施した。研修のほか、年間を通じてパンフレット等でハラスメントへの理解を深めるよう働きかけて、職員の人権に対する意識向上を図った。
	(課題・問題点) コロナ感染症予防のため、予定していた自治研修センターにおける次長職へのハラスメント防止研修に参加することができなかった。

A C T (改善)	<b>担当課による、次年度における取り組み予定</b>
	コロナ禍において、遠方から講師を招き、安全に研修を実施することは非常に難しいことであるが、感染症の状況を見極めながら研修を実施する。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 管理職向けには研修を実施できている。		
	(課題・問題点) 5級以下の職員対象の研修も実施されたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)	
<b>改善策等の提言</b>			

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	11	基本目標	I 人権の尊重
事業名	地域活動における男女共同参画の促進	主要課題	I-2 男女平等の意識づくり
課係名	生活課	施策の方向	I-2(2)地域・家庭・職場における男女平等意識啓発の推進

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲
	講演会や講座の開催により、引き続き、地域におけるまちづくりへの理解を深め、性別を問わず、より多くの市民が参加できるよう、意識の醸成に努めるとともに、意思決定過程における男女共同参画の促進に努める。

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画				
	自治会長連合会や社会福祉協議会と連携し、男女が共に地域活動に参画することの意義について理解を深めるようあらゆる機会を通じて意識啓発を図る。				
	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度~R2年度)における目標)				
	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入				
	男女がともに自治会活動や地域でのボランティア活動に参加できるよう、さまざまな機会を捉えて地域活動における男女共同参画についての周知を図る				
R2年度の数値目標		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)						
	内容		回数	参加者数(男女別)			
	・茂原市自治会長連合会主催による講演会を、合同会社フォーティR&C代表の水津陽子氏を講師に招いて1月31日に開催する予定であったが、感染症予防のため中止となった。 ・(株)CALICO DESIGN取締役の上原一紀氏を講師に招き、協働提案事業サポート講座を12月8日に開催した。感染症予防のため、リモートとオフラインを併用して開催した。		1回	25名(男性16名・女性9名)			
	R2年度の数値成果		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)	
R2予算額(千円)		R2予算額(再掲の場合)		R2決算見込額		R3予算額	
1,556				1,556		1,556	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割~7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 講座の開催を通じて、地域におけるまちづくりへの理解を深め、性別を問わず、より多くの市民が参加できるよう、意識の醸成に努めた。 (課題・問題点) 以前に比べて、地域におけるまちづくりに男女がともに参加する機運は高まっているが、依然として主導的立場の女性が少なく、意思決定過程における男女共同参画が進んでいないのが実情である。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	講演会や講座の開催を通じて、引き続き、地域におけるまちづくりへの理解を深め、性別を問わず、より多くの市民が参加できるよう、意識の醸成を図るとともに、意思決定過程における男女共同参画の促進に努める。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 講座の開催はできているが、女性の参加が少ない。		
	(課題・問題点) 地域活動に女性が参加できるような環境づくりに努められたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)	
<b>改善策等の提言</b>			

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	12(子)	基本目標	I 人権の尊重
事業名	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女平等に関する保育・教育の推進	主要課題	I-2 男女平等の意識づくり
課係名	子育て支援課	施策の方向	I-2(1)男女平等意識啓発の推進

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲
	引き続き、日常の保育や行事において、保育士が男女平等の意識に立った保育に努める。

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画				
	(保育所・幼稚園) 乳幼児の保育や幼児教育において、男女平等の視点に配慮した保育及び教育を実施し、男女平等の意識を高める。				
	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)				
	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入				
	①性別による固定的な役割分担や、性格、服装、色使い等において必要以上に男女の区別をしないよう配慮する。 ②緊急的な保育や育児に伴う保護者の心理的・肉体的負担の軽減を図るため、朝日の森保育所において、一時保育を実施する。				
R2年度の数値目標		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
		/	/	/	/

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入(添付書類 有・無)						
	内容		回数	参加者数(男女別)			
	①保育所では保育所保育指針(厚労省告示)に基づき保育を実施しており、指針中の「子どもの性差や個人差にも留意しつつ、性別などによる固定的な意識を植え付けることがないようにすること。」を遵守して保育を実施している。						
	②朝日の森保育所 一時保育の実績(R3.3.23時点) 利用児童延べ33名、利用回数33回						
	R2年度の数値成果		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)	
		/	/	/	/		
R2予算額(千円)		R2予算額(再掲の場合)		R2決算見込額		R3予算額	
0		0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) ①について、男女平等の視点に配慮した保育を行っているが、定量的又は定性的に達成度を測り評価することは困難である。 ②について、緊急事態宣言に伴い、令和2年4月10日から6月30日まで公立保育所は登園自粛要を行い、その間は感染拡大防止のため、一時保育の受け入れを行わなかった。またそれ以外の期間は保育士不足により受け入れ件数が少なく、利用者は前年の半分以下となっている。  (課題・問題点) ①については保育所での取り組みがあることを示すために計画に載せる必要はあると思うが、評価の対象からは外せないか。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	①引き続き、日常の保育や行事において、保育士が男女平等の意識に立った保育に努める。 ②一時保育を安定して提供できるよう、必要な保育士の確保に努める。

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<p>(評価の根拠) 男女平等の視点に配慮して保育を行っているが、達成度をはかることは困難である。</p> <p>(課題・問題点) 研修等の参加により、引き続き男女平等の意識に立った保育に努められたい。また、数値目標の設定に努められたい。</p>		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な計画がなく、達成度の評価は困難である。定量的な評価は困難だと思う。</li> <li>・男女平等の視点にたった保育について学生時に受講したとは思いますが、不十分ではないか。更なる男女共同参画の視点を持った保育をするために研修会等に参加してほしい。</li> <li>・朝日の森保育所については、新型コロナウイルス感染症により閉鎖の期間があったものの、一定程度の成果をあげている。</li> </ul>		
改善策等の提言		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女平等の視点に配慮した保育は、その成果を図ることが難しい。「保育所に対する啓発」を行うことを評価の対象としてはどうか。</li> <li>・全員が研修を受けることは不可能だと思う。受講者を中心に保育所内で勉強会を実施してほしい。</li> <li>・一時保育については利用可能目標数を示して、市民の要望に応えられるよう環境を整えるよう努められたい。</li> <li>・区別するわけではないが、男性目線の保育もあるのでは。男性保育士は何人いるのか。</li> <li>・朝日の森保育所については、必要な保育士の確保に向けた具体的な取り組みが求められる。</li> </ul>		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	12(学)	基本目標	I 人権の尊重
事業名	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女平等に関する保育・教育の推進	主要課題	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲		
	①各幼稚園、各小中学校においては、男女平等を含む人権教育について、各教科等の中で指導していく。 ②思春期健康教室の開催。		

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画				
	(保育所・幼稚園) 乳幼児の保育や幼児教育において、男女平等の視点に配慮した保育及び教育を実施し、男女平等の意識を高める。 (小中学校) 児童・生徒の発達段階に応じ、社会科、技術・家庭科等の教科や道徳、特別活動および総合的な学習の時間での教育活動などを通じて、男女平等の意識を高める教育等を実施する。				
	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)				
	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入				
	①幼児期において、人との関わりの中で道徳性を養えるような教育を実施する。 ②小中学校において、各教科や特別活動等の学習を通して、男女平等を含む人権教育について意識を高める教育を実施する。 ③思春期健康教室を児童生徒に命の大切さを学ばせる。				
R2年度の数値目標		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
①思春期健康教室の開催 年1回/校				①年1回	①年1回

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)						
	内容	回数	参加者数(男女別)				
	①幼児教育において、男女の区別なく友達や教師と関わりながら活動する楽しさを味わわせ、信頼を持てるようにした。	1回(各校)	小学校14校、中学校6校				
	②社会科や道徳科において人権的な視点から学習を進めた。特別活動において男女の区別なく活動を行った。						
	③思春期健康教室を行った。						
R2年度の数値成果		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)		
①思春期健康教室の開催 20校中8校				①年1回(各校)	①年1回(各校)		
R2予算額(千円)		R2予算額(再掲の場合)		R2決算見込額		R3予算額	
0				0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 各幼稚園、各小中学校において、幼稚園教育要領や学習指導要領に基づいた指導計画を作成し、学習の中で男女平等の意識を高めることができた。 (課題・問題点) 男女共同参画の視点のみで、授業展開することや数値で評価することは難しい。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定		
	①各幼稚園、各小中学校において、男女平等を含む人権教育について、各教科等の中で指導していく。 ②思春期健康教室の開催		

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 思春期健康教室を全校で実施できていない。		
	(課題・問題点) 全ての小中学校で思春期健康教室を実施されたい。また、実施できない場合は、資料や教材などの配布をされたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)	
<b>改善策等の提言</b>			

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	16(子)	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DVに関する相談窓口等の充実と周知徹底	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅱ-1(1)DV、虐待防止啓発の推進

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲		
	①DV相談窓口に関する広報もばらへの掲載		
	②公共施設の男女トイレにDV相談ステッカーを設置		
	③DV相談カードの配布		

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画		
	国・県等の関係機関、庁内の関係各課との連携により、被害者の保護や情報収集に努める。また、家庭児童相談員を配置し、相談窓口の充実を図るとともに、広報もばらやホームページ、パンフレット、ポスター、啓発物資の配布等により周知を図る。		

P L A N (計画)	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)			
	(14) 相談窓口の周知・啓発回数 5回以上(年1回以上)			
	(15) DVカード配布枚数 2,500枚(年500枚以上)			

P L A N (計画)	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入			
	①庁内におけるDV支援の連携・強化を図るため、関係課による会議を開催する。 ②広報もばら等への掲載やポスターの掲示、パンフレット、啓発物資の配布等により周知を図る。			

R2年度の数値目標		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
(14) 相談窓口の周知・啓発回数	年12回	(14)年1回 (15)年500枚	(14)年1回 (15)年500枚	(14)年12回 (15)年500枚	(14)年12回 (15)年500枚
(15) DVカード配布枚数	年300枚				

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入(添付書類 有・無)						
	内容		回数	参加者数(男女別)			
	①DV相談窓口に関する広報もばらへの掲載(毎月掲載) ②公共施設の男女トイレにDV相談ステッカーを設置(市庁舎、本納支所等、計16か所の公共施設に設置) ③DV相談カードの配布(子育て支援課、本納支所、保健センター窓口に配布) ④DV防止に関する記事を市公式ウェブサイトにて随時掲載 ⑤11月の「女性に対する暴力をなくす運動」推進月間時に周知用のチラシを各自治会に回覧		①12回 ⑤1回				
	R2年度の数値成果		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)	
	(14) 相談窓口の周知・啓発回数	12回	(14)年1回 (15)年600枚	(14)年1回 (15)年500枚	(14)年12回 (15)年500枚	(14)年12回 (15)年500枚	
R2予算額(千円)		R2予算額(再掲の場合)		R2決算見込額		R3予算額	
0				0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 概ね計画どおりに実行できた。 (課題・問題点) 相談体制の充実に向けた専門的知識を持った人員の配置。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定		
	①DV相談窓口に関する広報もばらへの掲載		
	②公共施設のトイレにDVステッカーを設置 ③DV相談カードの配布		

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 周知活動については、概ね計画どおりに実施されている。		
	(課題・問題点) 相談体制の充実のため、専門的知識を持った人員の配置に努められたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)	
<b>改善策等の提言</b>			

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	18(子)	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DV防止に関する意識啓発	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅱ-1(1)DV、虐待防止啓発の推進

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲
	引き続き様々な機会を通じ、DVに関する正しい理解や認識を図るため、講演等を実施する。

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画				
	DVが人権侵害であるという観点から、女性に対する暴力を許さない社会づくりをテーマとした講演会等への参加を促進する。また、若年層向けにデートDVに関する正しい理解を促進するための啓発に努める。				
	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)				
	(17) 女性に対する暴力をなくす運動の周知 5回以上(年1回以上)				
	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入				
①DV防止に関する周知を図るため、様々な機会を通じ、啓発活動に取り組む。					
R2年度の数値目標		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
(17) 女性に対する暴力をなくす運動の周知 年1回以上		(17)年1回	(17)年1回	(17)年1回	(17)年1回

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入(添付書類 有・無)						
	内容		回数	参加者数(男女別)			
	①11月の女性に対する暴力をなくす運動月間について広報もばらに掲載し、周知を図った。 ②市庁舎、本納支所等の市内公共施設にDV防止に関するポスターを掲示。 ③11月の「女性に対する暴力をなくす運動」推進月間時に周知用のチラシを各自治会に回覧。		①1回 ③1回	/			
	R2年度の数値成果		H28(参考)			H29(参考)	H30(参考)
	(17) 女性に対する暴力をなくす運動の周知 1回		(17)年1回	(17)年1回	(17)年1回	(17)年1回	
R2予算額(千円)		R2予算額(再掲の場合)		R2決算見込額		R3予算額	
0				0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策の中で、出来る限りの周知・啓発に努めた。			
(課題・問題点) コロナ禍での周知・啓発への取り組み。			

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き様々な機会を通じ、DV防止に関する啓発に努める。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 周知活動については、概ね計画どおりに実施されている。		
	(課題・問題点) 講演会等を実施し、さらなる周知に努められたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)	
<b>改善策等の提言</b>			

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	19	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	障害者(児)の虐待防止	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	障害福祉課	施策の方向	Ⅱ-1(1)DV、虐待防止啓発の推進

A C T (改善)	<b>R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲</b>
	今後も虐待にかかる通報等があった場合は、関係各課及び関係機関と連携し、障害のある人への支援や養護者への支援を行っていく。

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた具体的取り組み計画</b>
	障害のある人が尊厳を保ち、安心して暮らしていけるよう、虐待に係る通報・届出の受理、相談・指導・援助を行う。また、障害者虐待の相談窓口及び通報義務についてパンフレット、ホームページ等を用いて周知する。
	<b>第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)</b>
	<b>R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入</b>
	①担当職員のスキル向上のため、県主催の障害者虐待防止担当者連絡会議及び障害者虐待・権利擁護研修に積極的に参加する。 ②障害者虐待の相談窓口の設置や、障害者虐待を受けたと思われる障害者を発見した場合には通報義務があることを市民に周知するため、市ウェブサイトへの掲載、ポスターの掲示および窓口でのパンフレットの設置等を行う。 ③虐待通報等があった場合には、早急に事実を確認するための調査を実施し関係各課、指定特定相談支援事業所、中核支援センター等の関係機関と連携し、障害のある人への支援を行う。

<b>R2年度の数値目標</b>	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)

D O (実施)	<b>R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)</b>			
	<b>内容</b>	<b>回数</b>	<b>参加者数(男女別)</b>	
	①県主催の障害者虐待防止担当者連絡会議及び障害者虐待防止・権利擁護研修に2回参加し、虐待にかかる相談・指導・援助についての対応技能を習得した。	①2回		
	②障害者虐待の相談窓口や通報義務があることを市民に周知するため、窓口でのポスター掲示やパンフレットの設置等を行った。			
	③虐待通報については、事実を確認し、警察・関係各課・中核支援センター等の機関と連携し、障害のある人への支援や養護者の支援を行った。			
<b>R2年度の数値成果</b>	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
<b>R2予算額(千円)</b>	<b>R2予算額(再掲の場合)</b>	<b>R2決算見込額</b>	<b>R3予算額</b>	
0		0	0	

C H E C K (評価)	<b>【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 職員のスキルアップのための研修への参加、通報義務等の市民への周知を行い、被害者支援の充実と障害者虐待防止の推進が図れた。 (課題・問題点)

A C T (改善)	<b>担当課による、次年度における取り組み予定</b>
	今後も虐待にかかる通報があった場合は、関係各課及び関係機関と連携し、障害のある人への支援や養護者への支援を行っていく。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input checked="" type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 計画どおり実施されている。		
	(課題・問題点) 人員(保健師)の配置により、相談体制の充実に努められたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)	
<b>改善策等の提言</b>			

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	20	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DV対策について関係機関との連携の強化	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅱ-1(2)被害者に対する支援、相談の充実

A C T (改善)	<b>R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲</b>
	今後も引き続き、庁内支援体制の強化を図り、被害者の安全確保に努めると共に、自立に向けた支援を実施する。

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた具体的取り組み計画</b>
	地域配偶者暴力相談支援センター(長生健康センター)、女性サポートセンター、警察、母子生活支援センター、中核地域支援センターなどの関係機関との連携を強化し、シェルターへの避難など緊急的対応の充実を図る。また、外国人や高齢者、障害者等のDV被害者の対応について、庁内支援体制の強化を図るとともに、情報の共有や漏洩防止に努める。
	<b>第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度~R2年度)における目標)</b>
	(18) DV等に関する庁内連携会議開催 5回以上(年1回以上)
	<b>R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入</b>

①関係機関との連携を図り支援に努める。
②被害者の安全確保に努める。
③DV支援の連携強化を図るため、支援会議を開催する。

<b>R2年度の数値目標</b>	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
(18) DV等に関する庁内連携会議開催 年1回以上	年1回	年1回	年2回	年1回

D O (実施)	<b>R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入(添付書類 有・無)</b>			
	<b>内容</b>	<b>回数</b>	<b>参加者数(男女別)</b>	
	①令和2年7月29日 管理職向けDV等に関する庁内連携会議を実施	①1回	①11人 (男9人、女2人)	
	②令和2年9月30日 一般職向けDV等に関する庁内連携会議を実施	②1回	②12人 (男3人、女9人)	
	<b>R2年度の数値成果</b>	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)

(18) DV等に関する庁内連携会議開催 1回	年1回	年1回	年2回	年1回
-------------------------	-----	-----	-----	-----

<b>R2予算額(千円)</b>	<b>R2予算額(再掲の場合)</b>	<b>R2決算見込額</b>	<b>R3予算額</b>
9,950		9,475	5,435

C H E C K (評価)	<b>【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割~7割) <input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 概ね計画どおりに遂行できた。
	(課題・問題点) 相談体制の充実に向けた専門的知識を持った人員の配置。

A C T (改善)	<b>担当課による、次年度における取り組み予定</b>
	引き続き、庁内支援体制の強化を図り、DV被害者の安全確保と自立に向けた支援に取り組む。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 数値目標は達成している。		
	(課題・問題点) 庁内連携会議以外の実施結果を、詳細に記載されたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)	
<b>改善策等の提言</b>			

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	23	基本目標	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画
事業名	男女共同参画によるまちづくりの推進と審議会等委員への女性参画の拡大	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅲ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

A C T (改善)	<b>R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲</b>
	引き続き、審議会等における女性の登用について調査し、女性の積極的な登用を依頼する。昨年度茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会から提言された、広報で、「女性委員を求めている」、というような特集を組むことについては、審議会ごとに任期及び募集時期が異なるため難しいが、各審議会が委員募集する際、女性がよく集まる場により積極的に情報発信することについては、各担当課に提案する。

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた具体的取り組み計画</b>				
	市民協働によるまちづくり推進を担う各団体において、意思決定過程における男女共同参画を促進するとともに、審議会等委員の選定にあたっては公募枠の拡大、代表者に限定しない適任者の推薦などを依頼し女性の登用を促進する。特に女性委員のいない団体や審議会等をなくすことを目指し女性の参画拡大を図る。				
	<b>第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)</b>				
	(19) 審議会等における女性委員の登用率 平成32年度までに30%以上				
	<b>R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入</b>				
①審議会等における女性の登用率について調査する。 ②審議会等における女性の参加促進について各担当課に依頼するとともに、難しい場合は理由をヒヤリングする。					
<b>R2年度の数値目標</b>		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
(19) 審議会等における女性委員の登用率 平成32年度までに30%以上				(19) -	(19) 30%
①審議会等における女性の登用率についての調査				①年1回	①年1回
②審議会等における女性の参加促進についての依頼				②年1回	②年1回

D O (実施)	<b>R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)</b>						
	内容	回数	参加者数(男女別)				
	①審議会等における女性の登用率について調査した。	①1回	/				
	②女性委員の少ない審議会等については、公募委員を増やすなどして女性委員の積極的な登用を依頼した。	②1回					
	<b>R2年度の数値成果</b>		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)	
(19) 審議会等における女性委員の登用率 23.1%				(19)22.2%	(19)22.0%		
①審議会等における女性の登用率についての調査 1回		(19)19.0%	(19)20.9%	①年1回	①年1回		
②審議会等における女性の参加促進についての依頼 1回				②年1回	②年1回		
<b>R2予算額(千円)</b>		<b>R2予算額(再掲の場合)</b>		<b>R2決算見込額</b>		<b>R3予算額</b>	
0				0		0	

C H E C K (評価)	<b>【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 審議会等における女性の登用率について調査を行った。昨年度より女性の登用率は1.1%上がった。 (課題・問題点) 担当課が女性委員を公募しても、女性からの応募がなく、登用率を上げることが難しい。		

A C T (改善)	<b>担当課による、次年度における取り組み予定</b>
	引き続き、審議会等における女性の登用について調査し、女性の積極的な登用を依頼する。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 数値目標には達しておらず、成果を上げたと言い難い。しかし、昨年と比較したところ率は上がっている。		
	(課題・問題点) 引き続き積極的な登用を依頼したい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)	
<b>改善策等の提言</b>			

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	25	基本目標	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画
事業名	市女性職員の登用の推進	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	Ⅲ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲		
	今後も積極的に女性の登用を図る。		

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画				
	男女を問わず採用・登用し、性別にとられない人事配置を行う。また、女性職員がその能力特性を十分発揮し、政策・方針決定過程への参画を通して管理職へ積極的に登用されるよう、人材育成の方策について検討する。				
	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)				
	(20)管理職における女性の割合 平成32年度までに30%以上				
	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入				
育児や介護との両立など働き方のニーズの多様化に伴う働き方改革を進めることにより、女性が管理職として働きやすい環境整備及び適材適所の人員配置をして、積極的な女性の登用を図る。					
R2年度の数値目標		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
(20)管理職における女性の割合増加 令和2年度までに30%以上					(20)30%以上

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)						
	内容		回数	参加者数(男女別)			
	令和2年度の管理職への登用状況(令和2年4月1日現在) 管理職に占める女性職員の割合 19.82% 女性職員の人数 22人/111人 (内訳) 9級(部長職) 1人/8人 8級(次長職) 1人/10人 7級(課長職) 5人/35人 6級(補佐職) 15人/58人		19.82%	111人 (男89人・女22人)			
	R2年度の数値成果		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)	
	(20)管理職における女性の割合 19.82%		(20)17.5%	(20)19.0%	(20)20.3%	(20)19.58%	
R2予算額(千円)		R2予算額(再掲の場合)		R2決算見込額		R3予算額	
0				0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 積極的な登用は行っているが、目標数値には達していない。特定事業主行動計画において、同様の数値目標を掲げており、令和3年以降も継続して登用を図っていく。  (課題・問題点) 女性の登用にあたっては、本人の意欲や責任感の醸成が必要であるとともに、長期的視点にたって対応を図る必要がある。人事評価制度を活用し、性別にとられない人事配置をする。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定		
	特定事業主行動計画において、職員課及び所属長が主体となり取り組む内容とともに同じ数値目標を掲げている。次年度以降は行動計画の周知を図り、継続して管理職に女性を登用する。		

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 目標数値には達していないが、積極的に登用している事が伺える。		
	(課題・問題点) 女性管理職に対する意識調査等を実施し、より一層研修、啓発活動にご尽力願いたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)	
<b>改善策等の提言</b>			

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	26	基本目標	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画
事業名	市女性職員の能力開発のための研修への参加機会の確保・拡大	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	Ⅲ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲
	引続き研修に積極的に派遣するとともに、自発的に参加しようとする職員の育成に努める。

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画				
	女性職員の人材育成の観点から、関係機関での研修を活用するなど、能力開発のための研修等への参加機会の確保・拡充を図る。				
	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)				
	(21) 市女性職員の能力開発のための研修への参加人数 延べ25人以上				
	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入				
千葉県自治研修センター等が実施する女性職員のための研修に、積極的に職員を派遣する。					
R2年度の数値目標		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
(21) 市女性職員の能力開発のための研修への参加人数 年5人		(21)年5人	(21)年5人	(21)年5人	(21)年5人

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入(添付書類 有・無)				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	令和2年度は2名の職員が能力開発のための研修に参加した。 ・千葉県自治研修センター「女性活躍推進研修」(1日間)2名	年2人	2人 (男0人・女2人)		
	R2年度の数値成果	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
	(21) 市女性職員の能力開発のための研修への参加人数 年2人	(21)年5人	(21)年5人	(21)年4人	(21)年2人
R2予算額(千円)		R2予算額(再掲の場合)		R2決算見込額	R3予算額
54				9	36

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 係長相当職の職員を派遣したので、女性リーダーの育成に有効であったと考える。研修で学んだことを活かして各所属で活躍している。  (課題・問題点) その他女性職員の能力開発のための研修に参加する予定はあったが、新型コロナウイルス感染症予防のため、都内で実施される研修へ派遣しなかった。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	昨年からの災害及び新型コロナウイルス感染症予防のため、予算措置はあるものの研修に参加させることができなかつたため、次年度以降はオンラインなど安全に実施できる研修を検討する。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 目標には達成していないが、災害やコロナ禍で研修に行きにくい状況で、ある程度の成果を上げている。		
	(課題・問題点) 研修対象を係長相当職に限らず幅を広げ、オンラインなどを活用し、withコロナ時代に対応した職員育成に努めて頂きたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)	
<b>改善策等の提言</b>			

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	27	基本目標	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画
事業名	男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知と積極的取り組み(ポジティブ・アクション)の促進	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅲ-1(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の促進

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲		
	国・県等の施策を市公式ウェブサイトを活用し、情報提供に努める。また、「次世代育成支援対策推進法」及び「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の周知に努め、一般事業主行動計画の策定を促進する。		

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画				
	男女ともに仕事と育児・介護が両立できる職場環境を整備するため、男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知を図る。また、商工会議所等の関係機関と連携し、企業・団体におけるポジティブ・アクション(積極的改善措置)の実行等を通じ、積極的に女性を指導的地位へ登用するよう促す。				
	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)				
	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入				
	①男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度、ポジティブ・アクション関連の情報提供のため、市公式ウェブサイト積極的に活用するとともに、商工団体の広報誌への掲載やパンフレット等の配付により、事業所への周知に努める。 ②他市町村における取り組みを調査するとともに、企業における優良事例等を発信する。				
R2年度の数値目標		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
①各種セミナー・講習会等を活用した周知機会の創出 年1回以上				①年2回	①年2回

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)						
	内容	回数	参加者数(男女別)				
	①新型コロナウイルス感染症拡大などの影響により講習会等の開催ができなかったが、関係機関主催によるセミナーや法制度に関するチラシ等の案内を市窓口で配布した。また、市公式ウェブサイトを活用し情報発信に努めた。 ②市公式ウェブサイトへ厚生労働省へのリンクを貼り、企業における優良事例等を発信した。						
	R2年度の数値成果	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)		
	①各種セミナー・講習会等を活用した周知機会の創出			①未回答	①未回答		
R2予算額(千円)		R2予算額(再掲の場合)		R2決算見込額		R3予算額	
0		0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 国や県の施策の周知を市公式ウェブサイトにおいて、一元的に掲載した。 (課題・問題点) with、afterコロナ時代に対応した効果的な情報発信や、他市町村の取組みについて調査する必要がある。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定		
	国・県等の施策に関する情報を、市公式ウェブサイト上でさらに充実させるとともに、「次世代育成支援対策推進法」及び「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の周知に努め、一般事業主行動計画の策定を促進する。		

【2次評価】推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等			
--	--	--	--

- A:十分な成果を上げた  
(達成度8割以上)
  B:ある程度の成果をあげた  
(達成度4割～7割)
  C:事業の対象や見直しが必要  
(達成度3割以下)

(評価の根拠) コロナ禍でセミナー等は開催されなかったものの、市公式ウェブサイトを活用し一元的に情報発信している。

(課題・問題点) より効果的な周知方法(オンライン等)を検討し、情報発信に努めて頂きたい。

### 重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】

### 総合評価とその判定理由

- A:十分な成果を上げた  
(達成度8割以上)
  B:ある程度の成果をあげた  
(達成度4割～7割)
  C:事業の対象や見直しが必要  
(達成度3割以下)

- ・コロナ禍で講演会等が開催できなかったのはやむを得ない。
- ・平成30年度の数値を上回っていないが、概ね上昇傾向にあり、取り組みが行われていることが分かる。
- ・市公式ウェブサイトを活用し、情報発信したことについては評価できる。

### 改善策等の提言

- ・1次評価の(課題・問題点)に表記されている内容をぜひ実行して欲しい。
- ・数値目標は、年1回ではなく、小規模、多頻度の開催を望む。
- ・男女ともに仕事と育児・介護が両立できる職場環境整備に必要なこと、周知してもらうことを、事業主にもつと訴えてもらいたい。事業主が対象のセミナーをぜひ実行されたい。トップが動かなくては進まない。
- ・この報告書からは女性管理職が大きく伸びない理由が明らかではない。原因・背景を検討することによって目標達成のための課題が明らかになってくるのではないか。そのような調査を行うことを検討してもよいのではないか。
- ・他市町村の取り組みを調査するのみでなく、お互いの情報交換・意見交換が必要なのではないか。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	28	基本目標	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画
事業名	就労を希望する女性の再チャレンジ支援	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅲ-1(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の促進

A C T (改善)	<b>R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲</b>
	千葉県ジョブサポートセンター事業を活用し、再就職支援セミナーを継続して開催する。開催にあたり、ハローワーク等の関係機関と更なる連携を図る。

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた具体的取り組み計画</b>
	県及び関係機関と連携し、女性の職業能力の向上のための講座や再就職を支援するための情報提供を実施する。 広報紙・ホームページを利用し、就業相談窓口の情報を提供するとともに、女性の就職・再就職等のための相談事業の支援を実施する。

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)</b>

P L A N (計画)	<b>R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入</b>				
	①千葉県ジョブサポートセンターと連携し、再就職を支援するセミナーを開催する。 ②ハローワーク茂原やマザーズハローワーク等の支援機関が開催する講座や、就職・再就職支援の取り組みについて、広報・市ウェブサイトの掲載により情報を提供するとともに、関係機関のパンフレット等を商工観光課カウンターに設置する。				
	<b>R2年度の数値目標</b>	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
	・セミナー・講習会等の相談事業の開催支援 年1回以上				年1回

D O (実施)	<b>R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入(添付書類 有・無)</b>				
	<b>内容</b>	<b>回数</b>	<b>参加者数(男女別)</b>		
	①千葉県ジョブサポートセンターと連携し、再就職支援セミナーを開催し就職支援に努めた。 ②市公式ウェブサイトの構成を施策体系に沿って整理し、「マザーズハローワーク」や「千葉県ジョブサポートセンター」等の就職支援機関及び終業相談・就職支援セミナー等の情報発信を強化した。	①1回	①19人(男13人、女6人) (前年度9人(男5人、女4人))		
	<b>R2年度の数値成果</b>	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
	・セミナー・講習会等の相談事業の開催支援 年1回				年1回
	<b>R2予算額(千円)</b>	<b>R2予算額(再掲の場合)</b>	<b>R2決算見込額</b>	<b>R3予算額</b>	
0	0	0	0		

C H E C K (評価)	<b>【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>
	<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 性別年齢による区分けない再就職セミナーを開催し、前年度を上回る6人の女性の参加があった。 (課題・問題点) with、afterコロナ時代に対応した効果的な情報発信、セミナーの開催方法を検討する必要がある。

A C T (改善)	<b>担当課による、次年度における取り組み予定</b>
	千葉県ジョブサポートセンターと連携し、新型コロナウイルス感染症に配慮した形で再就職セミナーを開催する。 開催にあたり、ハローワーク等との関係機関と更なる連携を図る。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input checked="" type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 数値目標は達成、参加人数は昨年より増加。		
	(課題・問題点) 女性の就職・再就職を増やすという点に、より一層注視し、withコロナ時代に沿ったセミナー開催及び情報発信に努めて頂きたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)	
<b>改善策等の提言</b>			

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	31	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	父親の子育てに関する学習機会の提供	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	生涯学習課	施策の方向	Ⅳ-1(1)家庭生活における男女共同参画の促進

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲
	引き続き、各家庭教育学級を通じて、家庭生活における男女共同参画の意識の啓発を図る。

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画
	家庭教育学級などにおいて、父親の子育ての意識を高める内容を取り入れるなど、父親の積極的な子育ての参加を促進するための学習機会を提供し、子育てを共にする意識の啓発を図る。 また、父親が参加しやすいよう、講座・講習会・研修視察等を土日にも開催し、男女共同参画の高揚を図る。

P L A N (計画)	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度~R2年度)における目標)
	(25) 家庭教育学級の開催回数 375回(年75回) (26) 家庭教育学級の父親参加者 延べ1,700人以上(年340人以上)

P L A N (計画)	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①幼児期家庭教育学級の開催 ②就学时子育て講座 ③幼稚園・小学校家庭教育学級の開催

R2年度の数値目標		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
(25) 家庭教育学級の開催回数 年75回		(25)年75回	(25)年75回	(25)年75回	(25)年75回
(26) 家庭教育学級の父親参加者 年450人		(26)年450人	(26)年450人	(26)年450人	(26)年450人

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)

内容	回数	参加者数(男女別)
①幼児期(3歳児)家庭教育学級	①5回	①68人
②就学时子育て講座	②14回	(男3人・女65人)
③幼稚園・小学校家庭教育学級	③18回	②526人 (男25人・女501人) ③306人 (男28人・女278人)

R2年度の数値成果		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
(25) 家庭教育学級の開催回数 年37回		(25)年86回	(25)年86回	(25)年79回	(25)年71回
(26) 家庭教育学級の父親参加者 年56人		(26)年591人	(26)年554人	(26)年519人	(26)年488人

R2予算額(千円)	R2予算額(再掲の場合)	R2決算見込額	R3予算額
650		426	631

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

<input type="checkbox"/>	A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/>	B:ある程度の成果をあげた (達成度4割~7割)	<input checked="" type="checkbox"/>	C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
--------------------------	--------------------------	--------------------------	-----------------------------	-------------------------------------	-----------------------------

(評価の根拠) 感染症拡大防止に万全の対策を講じて事業を進め、幼児期(3歳児)家庭教育学級は概ね予定どおり開催できた。しかし、対象者が最も多い幼稚園・小学校家庭教育学級の多くの企画が中止となったため、数値目標を達成することができなかった。

(課題・問題点) コロナ禍の影響を受けた今年度は例年と単純比較できず課題や問題点が見えにくい状況であったものの、参加者における男性の割合は非常に低いため、引き続き啓発を行っていく必要がある。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定

A C T (改善)	引き続き、各家庭教育学級を通じて、家庭生活における男女共同参画の意識の啓発を図る。

**【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等**

- A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)
  B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)
  C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)

(評価の根拠) コロナ禍で開催中止となった以外の事業は概ね達成している。

(課題・問題点) オンラインを活用し、男性が参加しやすい環境づくり及び、啓発に努めて頂きたい。

**重点評価事業**

**【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点**

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】

**総合評価とその判定理由**

- A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)
  B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)
  C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)

コロナ禍でも家庭教育学級、子育て講座等を開催することができた。

**改善策等の提言**

- ・次年度計画の中に、コロナ禍でも実施できるような工夫を入れてほしい。(休校等があり、家庭教育学級を開くのは困難であるが、推進委員が課題としているように参加しやすい工夫などを)
- ・感染拡大防止のためには数値目標を減らして、密にならない程度に参加人数を設定して回数を多くするなど工夫が必要と思われる。
- ・自己評価において男性の割合が低いとしているが、改善事項に男性の参加を促すための取り組みが記載されていない。男性参加向上のための具体的な取り組みが求められる。
- ・家庭教育学級の日時を、父親も参加しやすい設定にしてほしい。(平日、昼間の開催が多いと思う。)
- ・父親の育児参加や家事参加を促進するための学習機会を提供する方法をオンラインで発信できないか。
- ・家庭教育学級の内容がわからないため何とも言えないが、男女共同参画の視点を持った子育て、家庭で母親とともに子育てする父親の在り方等の内容を含んだセミナーを実施されたい。
- ・テーマ・題材・日時を工夫されたい。
- ・参加人数を増やすための工夫をされたい。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	32	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	妊娠期の健康管理・育児に関する学習機会の提供	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅳ-1(1)家庭生活における男女共同参画の促進

A C T (改善)	<b>R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲</b>
	<p>・3コース実施、各コース4回(1回目・2回目…平日2回、土曜日2回。3回目…平日1回、土曜日3回)実施する。</p> <p>1回目:出産準備編…妊娠・陣痛・お産中の時の過ごし方、パパが行う陣痛時のマッサージ体験、歯・栄養のお話(歯科衛生士・栄養士) 他</p> <p>2回目:沐浴・妊婦体験編…赤ちゃんのお風呂入れ体験、パパが行う臨月の重さ体験、パパ“力”アップミニ講座 他</p> <p>3回目:授乳・抱っこ・ベビーマッサージ体験編…母乳育児・調乳(ミルク作り)体験、赤ちゃんの「泣き」について考えよう、先輩ママ・パパと交流、赤ちゃんの抱っこ体験 他</p> <p>・次年度は、4回目に実施していた内容を3回目に盛り込み、また夫も参加しやすい土曜日開催を増やしていく。また、防災や受動喫煙、夫婦間トラブルの予防に関する内容を取り入れ、妊娠期より子どもの健やかな成長を育むための環境づくりを支援していきたい。</p>

<b>第3次計画に定められた具体的取り組み計画</b>	
<p>妊娠期から夫婦で積極的に健康管理・育児の知識の普及と技術の習得を行うことで、出産後育児が不安なく行われ、愛情を持って子どもを養育できるよう「ママ・パパ教室」等を実施する。開催にあたっては父親も参加しやすいよう土曜日にも実施する。</p>	

<b>第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)</b>	
P L A N (計画)	<p>(27) ママ・パパ教室の初妊婦参加率 50%</p> <p>(28) ママ・パパ教室のパートナー参加率 70%</p>

<b>R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入</b>	
<p>母子保健法第9条により、市内在住の妊婦およびその家族に対し妊娠・出産・育児について正しい知識の普及を行う。</p> <p>①3回1コースで4コース実施(1回目・2回目…平日2回、土曜日2回。3回目…平日1回、土曜日3回)実施する。</p> <p>1回目:出産準備編…妊娠・陣痛・お産中の時の過ごし方、パパが行う陣痛時のマッサージ体験、歯・栄養のお話(歯科衛生士・栄養士) 他</p> <p>2回目:沐浴・妊婦体験編…赤ちゃんのお風呂入れ体験、パパ“力”アップミニ講座 他</p> <p>3回目:授乳・抱っこ・ベビーマッサージ編…母乳育児・調乳(ミルク作り)体験、先輩ママ・パパと交流、赤ちゃんの抱っこ体験 他</p> <p>②令和元年度に4回目として実施していた内容を、3回目に盛り込む。また、防災や受動喫煙、夫婦間トラブルの予防に関する内容を取り入れ、妊娠期より子どもの健やかな成長を育むための環境づくりを支援していく。</p>	

<b>R2年度の数値目標</b>	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
(27) ママ・パパ教室の初妊婦参加率 50%	(27)50%	(27)50%	(27)50%	(27)50%
(28) ママ・パパ教室のパートナー参加率 70%	(28)70%	(28)70%	(28)70%	(28)70%

D O (実施)	<b>R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)</b>				
	<b>内容</b>	<b>回数</b>	<b>参加者数(男女別)</b>		
	<p>①3回1コースで2コース実施。</p> <p>1回目:出産準備編、2回目:沐浴・妊婦体験編、3回目:授乳・抱っこ・ベビーマッサージ編</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、4月～9月末までの2コース(年6回)を中止し、6月から沐浴動画の配信及びテキストのダウンロードを可能とし、オンラインプレママセミナーを7～9月に3回開催した。また、教室再開してからは、先輩ママ・パパとの交流やマッサージについては中止とし、夫にも体験できる調乳指導等に変更した。また、教室の定員数を減らしたために参加できなかった妊婦に対し、個別で対応を行った。</p>	1回目、2回目、3回目:平日各1回、土曜日各1回 オンラインプレママセミナー:3回	【1回目】妊婦15人、夫11人、その他1人【2回目】妊婦12人、夫9人、その他1人【3回目】妊婦10人、夫6人、その他1人【オンラインプレママセミナー】妊婦4人、夫2人、その他1人【個別対応】妊婦29人、夫10人		
	<b>R2年度の数値成果</b>	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
	<p>(27) ママ・パパ教室の初妊婦参加率 18.1%</p> <p>(28) ママ・パパ教室のパートナー参加率 63.6%</p>	(27)52.4%	(27)52%	(27)40.9%	(27)55.9%
	(28)62.4%	(28)69%	(28)68.6%	(28)74.7%	
<b>R2予算額(千円)</b>	<b>R2予算額(再掲の場合)</b>	<b>R2決算見込額</b>	<b>R3予算額</b>		
195		85	199		

C H E C K (評価)	<b>【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>			
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)	
	<p>(評価の根拠) 新型コロナウイルス感染対策として、前期の教室開催を中止とし、再開後も定員数を減らし、内容の変更等の対応となったが、動画配信や可能な限りでの個別対応により、アンケート結果でも満足度が高く、効果が得られた。 (課題・問題点) 感染症対策として定員数を減らしているが、オンラインでの参加も可能にするなど、参加者数を増やせるよう工夫していく。また、夫婦で協力して育児ができるように先輩ママ・パパとの交流を中止しているため、それに代わる内容について検討していく。</p>			

A C T (改善)	<b>担当課による、次年度における取り組み予定</b>
	<p>・3回1コースで4コース実施(平日2コース、土曜日2コース)実施する。</p> <p>1回目:出産準備編…妊娠・陣痛・お産中の時の過ごし方、パパが行う陣痛時のマッサージ体験、歯・栄養のお話(歯科衛生士・栄養士) 他</p> <p>2回目:沐浴・妊婦体験編…赤ちゃんのお風呂入れ体験、パパが行う臨月の重さ体験、パパ“力”アップミニ講座 他</p> <p>3回目:授乳・抱っこ・ふれあい遊び編…母乳育児・調乳(ミルク作り)体験、赤ちゃんの「泣き」について考えよう、先輩ママ・パパへ聞いてみよう 他</p> <p>・夫の参加しやすい土曜日にも教室を開催。夫婦間トラブルの予防に関する内容を継続し、次年度は防災や受動喫煙についても取り入れ、妊娠期より子どもの健やかな成長を育むための環境づくりを支援していきたい。</p>

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) コロナ禍で数値は達成していないが、代替措置としてオンラインで開催するなど、十分な対策を取っている。		
	(課題・問題点) 対象の方に、より知ってもらえるような周知方法を検討されたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)	
<b>改善策等の提言</b>			

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	33	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	男性の家庭参画を促す講座等の実施	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	東部台文化会館	施策の方向	Ⅳ-1(1)家庭生活における男女共同参画の促進

A C T (改善)	<b>R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲</b>
	「男の料理教室」、「太巻き寿司教室」を実施し、家事に親んでもらう機会を設け、男性の家庭参画を促進する。

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた具体的取り組み計画</b>
	男女が対等な家族の構成員として互いに尊重し協力し合えるよう、男性も参加しやすい料理教室やその他生活に根ざした実践的な講座・生きがい講座等を開催し、男性の家庭参画を促進する。

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度~R2年度)における目標)</b>
	(29) 男性の家庭参画を促す講座の開催 45回以上(年10回以上)
	(30) 男性の家庭参画を促す講座の参加者 900人以上(年180人以上)

P L A N (計画)	<b>R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入</b>
	①「男の料理教室」は毎月第2金曜日とする。(6、7、9、10、11月の年5回)「太巻き寿司教室」は毎月第4木曜日とする。(6、7、9、10、11月の年5回)
	②旬の食材を活かし、健康的な家庭料理を習得する。(男の料理教室) 季節感のある模様を巻き込んだ房総伝統の太巻き寿司の作り方を習得する。(太巻き寿司教室)
	③食材の特性や季節感を大事にし、家庭でも応用が利く調理方法を学ぶ。

P L A N (計画)	<b>R2年度の数値目標</b>	<b>H28(参考)</b>	<b>H29(参考)</b>	<b>H30(参考)</b>	<b>R1(参考)</b>
	(29) 男性の家庭参画を促す講座の開催 年10回	(29)年5回	(29)年10回	(29)年10回	(29)年10回
	(30) 男性の家庭参画を促す講座の参加者 年180人	(30)年100人	(30)年200人	(30)年180人	(30)年180人

D O (実施)	<b>R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)</b>		
	<b>内容</b>	<b>回数</b>	<b>参加者数(男女別)</b>
	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、「男の料理教室」、「太巻き寿司教室」とともに実施できなかった。	①0回	①0人

D O (実施)	<b>R2年度の数値成果</b>	<b>H28(参考)</b>	<b>H29(参考)</b>	<b>H30(参考)</b>	<b>R1(参考)</b>
	(29) 男性の家庭参画を促す講座の開催 年0回	(29)年5回	(29)年10回	(29)年10回	(29)年10回
	(30) 男性の家庭参画を促す講座の参加者 年0人	(30)年96人	(30)年106人	(30)年181人	(30)年131人

<b>R2予算額(千円)</b>	<b>R2予算額(再掲の場合)</b>	<b>R2決算見込額</b>	<b>R3予算額</b>
100		0	100

C H E C K (評価)	<b>【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割~7割) <input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 今年度は教室を開催できず、数値目標を達成できなかった。 (課題・問題点) 料理教室以外の生活に根ざした講座なども開催できると良いが、希望する講座の講師を見つけることに苦慮している。

A C T (改善)	<b>担当課による、次年度における取り組み予定</b>
	料理教室の回数や募集人員を減らし、感染症対策に配慮して実施する。生活に根ざした家事に親んでもらう機会を設け、男性の家庭参画を促進する。

<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 代替策を取っていない。		
(課題・問題点) 人員、開催回数を減らすのではなく、オンライン等、他の開催方法を検討されたい。		
<b>重点評価事業</b>		
<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	1	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	1	1…不十分である 【50%未満】
<b>総合評価とその判定理由</b>		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全く実施されておらず、また、実施に向けた工夫が見られない。</li> <li>・次年度における取り組みの中に、「生活に根差した家事に親しんで…」と料理教室ばかりから脱しているように思うので、改善策を評価した。</li> </ul>		
<b>改善策等の提言</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・料理教室は、座学の講座に比べ、一層レベルの高い新型コロナウイルス感染症の予防対策が求められるのではないかと考えられる。オンラインによる開催などの工夫を行うことが求められる。</li> <li>・担当課の課題に記してあるように料理教室のみでなく、その他の家事にも、積極的に参加できるような内容の工夫ができ、講師も見つかることを願う。</li> <li>・料理だけでなく、男性のしやすい家事「掃除」をプロの業者のテクニックを知る講座があると面白いと思う。</li> <li>・オンラインや、千葉テレビのようなローカル放送を活用した料理教室はできないか？その際、レシピを募集してみるのも良い。</li> <li>・人員、開催回数を減らすのではなく、オンライン等、他の開催方法を検討されたい。</li> </ul>		

CHECK (評価)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	34	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	乳幼児相談・検診事業の充実	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅳ-1(1)家庭生活における男女共同参画の促進

A C T (改善)	<b>R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲</b>
	各種健診については、電話や訪問等による受診勧奨を行い、高い受診率を維持できるように努める。健診時に父親の来所も増えているため、夫婦で協力して育児ができるように働きかけ、必要に応じて関係機関の相談に繋げる。

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた具体的取り組み計画</b>
	すべての乳児に健康相談、幼児に健康診査を行い、運動機能・視聴覚等の障害、精神発達の遅滞等障害を早期に発見し、適切な指導を行い、心身障害の進行を未然に防止する。また、乳幼児期の親子が健全に成長発達でき、楽しく育児ができるように健康相談、健康診査を通じて男女が共に家庭における役割を担えるよう啓発していく。

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)</b>

P L A N (計画)	<b>R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入</b>
	①相談・未受診者に対して、電話・家庭訪問等で再勧奨し、受診率の向上を目指す。 ②育児についての不安や悩みをしっかりと聞くことにより育児不安の軽減を図り、家族やパートナーとの関係で悩んでいる方は関係機関の相談に繋げる。

<b>R2年度の数値目標</b>		<b>H28(参考)</b>	<b>H29(参考)</b>	<b>H30(参考)</b>	<b>R1(参考)</b>
①6か月乳児相談受診率 97%		①95.6%	①95.6%	①97.1%	①97%
②1歳6か月児健康診査受診率 98%		②99.2%	②97.3%	②98.7%	②98%
③3歳児健康診査受診率 97%		③98.2%	③96.8%	③97.5%	③97%

D O (実施)	<b>R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)</b>

内容	回数	参加者数(男女別)
①受診率:6か月乳児相談87.5%、1歳6か月児健康診査100.8%、3歳児健康診査98.4%、受診勧奨・精密検査連絡票発行者数:6か月乳児相談2件、1歳6か月児健康診査9件、3歳児健康診査24件(令和3年3月19日現在)	①14回	
②発達の遅れのある児に対しては、健診時の心理相談等につなげ、子どもの特性に合わせた関りができるように支援した。	②9回	
③育児不安等については、電話や訪問の他、関係機関の相談事業に繋げ、不安の軽減に努めた。また、パートナーとの関係に悩んでいる方については、子育て支援課の相談等につなげた。 (新型コロナウイルス感染症対策) ・幼児健診は7月まで休止し、当日の検温や健康チェック、受付時間や待合室を分散させ、定期的な換気、椅子等の消毒等を行った。また休止していたため、本来の対象月齢から後ろ倒しとなり、健診の案内までの間に電話で発育発達状況を電話や訪問等で確認を行った。 ・乳児相談は6月より個別対応として、6～7月に2回ずつ開催し、8月から本来の対象月齢を呼び出すことができた。	③9回	

<b>R2年度の数値成果</b>		<b>H28(参考)</b>	<b>H29(参考)</b>	<b>H30(参考)</b>	<b>R1(参考)</b>
①6か月乳児相談受診率 87.5%		①95%	①95%	①95%	①93.1%
②1歳6か月児健康診査受診率 100.8%		②97%	②97%	②97%	②99.8%
③3歳児健康診査受診率 98.4%		③95%	③95%	③95%	③96.7%

<b>R2予算額(千円)</b>	<b>R2予算額(再掲の場合)</b>	<b>R2決算見込額</b>	<b>R3予算額</b>
5,132千円		4,831	5,349

C H E C K (評価)	<b>【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>

<input type="checkbox"/>	A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/>	B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/>	C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
--------------------------	--------------------------	-------------------------------------	-----------------------------	--------------------------	-----------------------------

(評価の根拠) 1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査については、数値目標を達成できた。6か月乳児相談については、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、個別対応としたため数値目標を達成できなかったが、未受診者については面接や訪問等で95.8%把握できている。また、夫婦で協力して育児ができるように各種健診を通じて働きかけた。

(課題・問題点) 6か月乳児相談について数値目標を達成できるよう受診勧奨に努める。

A C T (改善)	<b>担当課による、次年度における取り組み予定</b>

引き続き高い受診率を維持できるよう、電話や訪問等で受診勧奨に努める。健診時に父親の来所も増えているため、夫婦で協力して育児ができるように働きかけ、必要に応じて関係機関の相談に繋げる。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input checked="" type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) コロナ禍ではあるが、高い数値を出している。		
	(課題・問題点) 父親の参加数を上げてもらいたい。親のコミュニティを減らさないような取り組みを検討されたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)	
<b>改善策等の提言</b>			

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	36	基本目標	IV ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	子育て支援に関する情報提供	主要課題	IV-1 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	IV-1(2)子育て支援の充実

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「もばらで子育てガイドブック2020」の発行、配布</li> <li>・各種相談・訪問業務の実施</li> </ul>

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画				
	男女が協力して子育てができるよう子育てガイドブックの配布、ブックスタートの充実、ホームページの活用による子育て支援に関する情報提供に努める。また、育児や養育に関する不安や、仕事と子育ての両立における問題を解消できるよう、赤ちゃん訪問や家庭相談員による家庭訪問等で対応していく。				
	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)				
	(31)「もばらで子育てガイドブック」の配布数 10,000部以上(年2,000部以上) (32)ブックスタート手渡し率 100% ※H29年度より保健センターで手渡ししているため				
	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入				
もばらで子育てガイドブックを作成、配布するとともに市公式ウェブサイトを活用し子育て支援に関する情報提供を実施する。また、相談員による訪問を積極的に行う。					
R2年度の数値目標		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
(31)「もばらで子育てガイドブック」の配布数 2,500部		(31)2,000部	(31)2000部	(31)2,500部	(31)2,500部

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入(添付書類 有・無)					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「もばらで子育てガイドブック2020」を発行し、子育て支援課や関係部署の窓口で配布。また、市公式ウェブサイトとスマートフォンアプリ「マチイロ」で配信を行った。</li> <li>・「もばらで子育てガイドブック2021」発行に向けて掲載内容の見直し作業を進めた。</li> <li>・子育て相談や養育支援訪問等を行い、保育士等から適切に情報提供を行った。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・配付冊数 2,500部</li> <li>・子育て相談 21回</li> <li>・養育支援訪問 75回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て相談70人(男42人、女28人)</li> <li>・養育支援14人(全員女性)</li> </ul>		
	R2年度の数値成果		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
	(31)「もばらで子育てガイドブック」の配布数 2,500部		(31)2,000部	(31)2,500部	(31)2,500部	(31)2,500部
R2予算額(千円)		R2予算額(再掲の場合)		R2決算見込額		
0		0		0		

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	<p>(評価の根拠) 当初の計画通りガイドブックの発行及び配付、各種相談等を実施することができた。</p> <p>(課題・問題点) 相談や訪問等はスタッフや受入側も女性に偏る傾向にある。</p>		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「もばらで子育てガイドブック2021」の発行、配布</li> <li>・各種相談、訪問業務の実施</li> </ul>

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	<input checked="" type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 計画通りに実施し、目標を達成している。		
	(課題・問題点) 男性スタッフを増員し、男性も相談しやすい環境づくりを検討されたい。		
	重点評価事業		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】	
総合評価とその判定理由			
<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)	
改善策等の提言			

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	37	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	子育てに関する相談業務の充実	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲
	引き続き、関係機関との連携・情報共有を密にし、児童虐待対応並びに相談業務の充実を図る。

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画
	夫婦の子育て不安や孤立感を解消できるよう、広報もばらや茂原市ホームページを活用して相談事業の周知を図るとともに、子育て支援課(子育て家庭相談室)及び保育所、幼稚園、保健センターなどの身近な施設において、育児・子育てに関する相談に対応する。児童虐待などの専門的な内容や困難事例については、要保護児童対策地域協議会を構成する関係機関と連携を図りながら対応する。

P L A N (計画)	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度~R2年度)における目標)
	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入

P L A N (計画)	①要保護児童対策地域協議会の代表者会議、実務者会議、個別支援会議を開催し関係機関との連携強化を図る。
	②電話や窓口及び家庭訪問により、相談業務の充実を図る。

R2年度の数値目標	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
①代表者会議 (年1回以上)	/	/	①年1回	①年1回
②実務者会議 (年5回以上)	/	/	②年6回	②年6回
③個別支援会議 (年50回以上)	/	/	③年50回	③年50回

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)
	内容

D O (実施)	回数	参加者数(男女別)
	①1回	①19人 (男13人、女6人)
D O (実施)	②5回	②94人 (男36人、女58人)
	③60回	③489人 (男149人、女340人)

R2年度の数値成果	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
①代表者会議 1回	/	/	①年1回	①年1回
②実務者会議 5回	/	/	②年6回	②年5回
③個別支援会議 60回	/	/	③年52回	③年67回

R2予算額(千円)	R2予算額(再掲の場合)	R2決算見込額	R3予算額
0	/	0	0

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割~7割) <input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)

C H E C K (評価)	(評価の根拠) 代表者会議や実務者会議を実施し、必要に応じ個別支援会議を開催し、関係機関と情報共有を行い、対応方法や役割分担を協議し、相談業務の充実に努めた。
	(課題・問題点) 実務者会議での支援対象児童数の増加に伴い、事例検討に長時間を要すること。相談件数の増加に対応するための専門的な知識を持った職員の配置。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	今後も関係機関との連携や情報共有を密にし、児童虐待への対応並びに相談業務の充実を図る。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input checked="" type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 計画通りに実施し、目標を達成している。		
	(課題・問題点) 支援対象児童の増加に合わせて、人員配置や体制整備に努めて頂きたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)	
<b>改善策等の提言</b>			

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	38	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	多様な働き方を支援するための保育サービスの拡充	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲
	病児・病後児保育については、市内の施設整備のため具体的な検討を進める。

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画
	子育てと仕事が両立できるように延長保育事業、一時預かり事業、病児・病後児保育 事業の充実に努め、ファミリーサポートセンター の創設を視野に入れ、更なるサービスの充実に努める。

P L A N (計画)	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)
	(33) 延長保育の実施時間を延長する保育所 1カ所
	(34) 一時預かりを実施する保育所 1カ所
	(35) 病児・病後児保育を実施する保育所の追加 1カ所

P L A N (計画)	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	①病児、病後児保育について、宮本内科医院が令和元年度で事業を終了したため、長生郡市内で病児保育を行う事業所は酒井医院のみである。開設について検討をする必要がある。
	②ファミリー・サポート・センター事業については、依頼会員に対して提供会員が不足しているため、提供会員数を増やすために、引き続き広報を行っていく。

P L A N (計画)	R2年度の数値目標	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
	(33) 延長保育の実施時間を延長する保育所 1カ所	(33)1カ所	(33)1カ所	(33)1カ所	
	(34) 一時預かりを実施する保育所 1カ所	(34)1カ所	(34)1カ所	(34)1カ所	
	(35) 病児・病後児保育を実施する保育所の追加 1カ所	(35)1カ所	(35)1カ所	(35)1カ所	

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	・病児病後児保育については白子町の酒井医院との委託を開始した。 ・ファミリーサポートセンターについては、新型コロナウイルス感染症の影響により学校の休校や学童クラブの休業でセンターを利用する場合の利用料を無料にするよう要綱を改正した。また、提供会員が安心して活動できるよう補償制度(保険)に加入した。					
	R2年度の数値成果		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
	(33) 延長保育の実施時間を延長する保育所 1カ所		(33)1カ所	(33)1カ所	(33)1カ所	(33)1カ所
	(34) 一時預かりを実施する保育所 1カ所		(34)2カ所	(34)3カ所	(34)4カ所	(34)1カ所
	(35) 病児・病後児保育を実施する保育所の追加 0カ所		(35)1カ所	(35)1カ所	(35)0カ所	(35)0カ所
R2予算額(千円)		R2予算額(再掲の場合)		R2決算見込額	R3予算額	
14,436				6,699	7,199	

C H E C K (評価)	【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 病児・病後児保育について白子町の酒井医院と委託することにより、茂原市民の利用料も値下げされることとなった。  (課題・問題点)・茂原市内での病児・病後児保育の実施。ファミリー・サポート・センターについては、利用会員に比べて提供会員が少ないため、提供会員の増加が課題である。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	病児・病後児保育については、茂原市内での実施のため、引き続き検討を行う。

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等
---

- A:十分な成果を上げた  
(達成度8割以上)
  B:ある程度の成果をあげた  
(達成度4割～7割)
  C:事業の対象や見直しが必要  
(達成度3割以下)

(評価の根拠) 数値の達成は出来ていないが、病児。病後保育について利用料値下げ等の成果を上げている。

(課題・問題点) ファミリーサポートの周知方法について検討、病児・病後児保育について、市内の病院が利用できるよう取り組んで頂きたい。

**重点評価事業**

**【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点**

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

**総合評価とその判定理由**

- A:十分な成果を上げた  
(達成度8割以上)
  B:ある程度の成果をあげた  
(達成度4割～7割)
  C:事業の対象や見直しが必要  
(達成度3割以下)

**改善策等の提言**

CHECK (評価)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	39(子)	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	放課後等の子どもの居場所づくり	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実

A C T (改善)	<b>R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰越となった東部小敷地内専用施設の速やかな完成。</li> <li>・本納地区の学校再編に対応した学童保育施設の具体的整備計画立案。</li> </ul>

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた具体的取り組み計画</b>
	<p>学童クラブでは、小学校に就学している児童であって、その保護者が就労等により昼間家庭にいないものに、授業の終了後等に児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。また、夏休み子ども教室では、夏休み期間中、すべての子供を対象に、学校の余裕教室等を活用した安全・安心な居場所づくりと学習や地域住民との交流活動等の機会の提供を行う。これらの事業は、相互の連携に努めるとともに、放課後子どもプラン運営委員会で随時検証を行い、更なる充実を図る。</p>

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度~R2年度)における目標)</b>
	(36) 学童保育の開設場所 19カ所 (37) 学童保育の児童数 延べ3,075人(年615人)
	<b>R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入</b>

P L A N (計画)	①公設学童クラブの通年及び長期休業時の利用申込・運営管理
	②民設学童クラブの運営支援(クラブ及び利用者に対する補助)
	③学童クラブ開設のための公共施設等利活用の促進

P L A N (計画)	<b>R2年度の数値目標</b>	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
	(36) 学童保育の開設場所 19カ所	(36)19カ所	(36)19カ所	(36)19カ所	(36)19カ所
	(37) 学童保育の児童数 615人	(37)615人	(37)615人	(37)615人	(37)615人

D O (実施)	<b>R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)</b>		
	<b>内容</b>	<b>回数</b>	<b>参加者数(男女別)</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度に繰越した東部学童クラブの専用建物の整備</li> <li>・二宮小学校及び緑ヶ丘小学校の学校再編に伴う二宮学童クラブの移設</li> <li>・つるえ学童クラブの鶴枝保育所から鶴枝小学校への移設</li> <li>・補助金を活用し公設学童クラブに新型コロナウイルス感染症拡大防止のための消耗品・備品の購入を行うとともに、民設学童クラブ事業者には新型コロナウイルス感染症防止対策に要する経費の補助を実施した。</li> </ul>		

D O (実施)	<b>R2年度の数値成果</b>	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
	(36) 学童保育の開設場所 20カ所(公設6カ所 民設12カ所 認可外2カ所)	(36)19カ所	(36)19カ所	(36)19カ所	(36)19カ所
	(37) 学童保育の児童数 630人	(37)558人	(37)570人	(37)612人	(37)610人

D O (実施)	<b>R2予算額(千円)</b>	<b>R2予算額(再掲の場合)</b>	<b>R2決算見込額</b>	<b>R3予算額</b>
	62,992		75,946	70,199

C H E C K (評価)	<b>【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割~7割) <input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	<p>(評価の根拠) 学童クラブの移設及び新型コロナウイルス感染症拡大防止対策は、目標通り行うことができた。</p> <p>(課題・問題点) 一部の学童クラブでは、待機児童が発生している。利用料や運営について差が生じているため是正する必要がある。</p>

A C T (改善)	<b>担当課による、次年度における取り組み予定</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本納小学校の移設に伴う、本納学童クラブの移設</li> <li>・公設学童クラブと民設学童クラブの利用料や運営についての差の是正</li> </ul>

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 目標通り達成している。		
	(課題・問題点) 本納学童の移設について、より具体的に計画を進めて頂き、場所と人員の確保について引き続き検討し、待機児童の解消に努めて頂きたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)	
<b>改善策等の提言</b>			

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	41	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	高齢者の総合相談窓口の充実	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	高齢者支援課	施策の方向	Ⅳ-1(3)介護支援の充実

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲		
	引き続き、委託型地域包括支援センターで適切に高齢者や家族等からの相談に応じるとともに、自治会回覧等を通じて、地域包括支援センターの周知をはかることとしたい。		

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画			
	高齢者にとって身近な相談窓口となる地域包括支援センターを日常生活圏域ごとに設置し、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員が中心となり、地域で暮らす高齢者を介護、福祉、健康、医療など、さまざまな面から総合的に支える。各地域住民へ、地域包括支援センターを広く周知し、相談窓口の充実に努める。			
	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)			
	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内4カ所の日常生活圏域に設置した、委託型地域包括支援センターが高齢者や家族等からの相談に応じ、多面的なサポートを行う。</li> <li>広報やホームページ、自治会回覧等の手法により、地域包括支援センターの周知活動を実施する。</li> </ul>			

R2年度の数値目標	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
			5カ所	

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の委託型地域包括支援センターで高齢者や家族等からの相談対応を行った。</li> </ul> 【令和2年度延相談件数(令和2年4月1日～令和3年1月31日まで)】 茂原市みなみ地域包括支援センター1,228件 茂原市ほんのう地域包括支援センター971件 茂原市ちゅうおう地域包括支援センター1,448件 茂原市もばら地域包括支援センター1,991件				
	R2年度の数値成果	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
				5カ所	

R2予算額(千円)	R2予算額(再掲の場合)	R2決算見込額	R3予算額
92,724		92,724	96,780

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 市内4カ所の委託型地域包括支援センターが、高齢者や家族等からの相談に応じることで、介護支援の充実、ワークライフバランスの推進をはかることができた。 (課題・問題点) 地域包括支援センターの周知活動を今後も継続する必要がある。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定		
	委託型地域包括支援センターにおいて、適切に高齢者や家族等からの相談に応じるとともに、広報掲載等を通じて地域包括支援センターの周知をはかることとしたい。		

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input checked="" type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 相談件数から、窓口や対策が充実していたことが伺える。		
	(課題・問題点) 具体的な指標を設定し、より計画に対しての成果の可視化を検討されたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)	
<b>改善策等の提言</b>			

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	42	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	認知症高齢者と家族等への支援の充実	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	高齢者支援課	施策の方向	Ⅳ-1(3)介護支援の充実

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲
	引き続き、認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう認知症サポーターの養成を幅広い年代で促していく。

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画				
	認知症の方とその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援する「認知症サポーター」の養成を図ると同時に、サポーターとしての支援活動に賛同した方を「ほっとみまもり隊」に登録し、「ほっとみまもり運動」を実施していく。また、サポーター養成講座の講師になれる認知症キャラバン・メイトを増やし、地域での活動を広げる。				
	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)				
	(40) 認知症サポーター養成講座受講者数 延べ2,000人以上(年400人以上)				
	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入				
・学校、民間企業、地域住民等を対象に認知症サポーター養成講座の周知活動を行い、幅広い年代に認知症サポーター養成講座を受講してもらえるよう努める。					
R2年度の数値目標		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
(40) 認知症サポーター養成講座受講者数 目標:年間400人		(40)400人	(40)400人	(40)400人	(40)400人

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入(添付書類 有・無)						
	内容		回数	参加者数(男女別)			
	・認知症サポーター養成講座を開催した。		7回	113人(男19人、女94人)			
	・コロナ禍に伴い、小学校で認知症サポーター養成講座が実施できなかったため、代替策として市内小学6年生を対象に認知症についてのリーフレットを配布した。		1回	689人			
	・過去に認知症サポーター養成講座を受講し、ほっとみまもり隊として登録した人を対象に、継続的な学習の機会を確保するため、フォローアップ講座を開催した。		1回	47人(男14人、女33人)			
R2年度の数値成果		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)		
(40) 認知症サポーター養成講座受講者数 113人		(40)568人	(40)226人	(40)242人	(40)224人		
R2予算額(千円)		R2予算額(再掲の場合)		R2決算見込額		R3予算額	
199				166		269	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) コロナ禍に伴い、認知症サポーター養成講座の開催回数が減少し、数値目標の達成には至らなかったが、市内小学校6年生へ認知症のリーフレットを配布する等、代替手段を講じることができた。  (課題・問題点) 小・中学校での認知症サポーター養成講座の開催回数が少ない。また、コロナ禍のため講座の開催等について、先行きが不透明である。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	感染症予防対策を取り入れながら、認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう認知症サポーターの養成を幅広い年代で促していく。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 目標数値には達成していないが、しっかりとした代替策を講じている。		
	(課題・問題点) 講座の開催回数が減ってしまっているの、オンライン等他の手段で講演回数を増やし、男性参加の増加に繋がる策について検討されたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)	
<b>改善策等の提言</b>			

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	43	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	市民へのワーク・ライフ・バランスの推進	主要課題	Ⅳ-2 労働の場における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅳ-2(1)ワーク・ライフ・バランス意識の浸透

A C T (改善)	<b>R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1度報告書より再掲</b>
	昨年度茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会から提言された、商工観光課や商工会議所と合同での講演会開催については、それぞれ市民向け、事業所向けと対象が異なるので実現は困難だが、それぞれが開催している講演会や講座については引き続き情報共有・周知や集客の協力をする。公共事業の入札時に企業の条件として労働環境を入れることについては管財課に提案する。

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた具体的取り組み計画</b>
	関係機関と連携しワーク・ライフ・バランスについて、講演会や講座のテーマに取り入れ市民への意識啓発を図るとともに、広報・ホームページなどを活用し、市民一人ひとりが人生の各段階に応じて多様な働き方の選択ができるよう情報提供を行う。

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)</b>

P L A N (計画)	<b>R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入</b>
	①市公式ウェブサイト等を通じて、ワーク・ライフ・バランスについて情報提供をする。 ②ワーク・ライフ・バランスをテーマとした市民向けの講演会等を開催する。

<b>R2年度の数値目標</b>		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
①市ホームページへの情報掲載やリーフレットの配布 年1回				①年1回以上	①年1回以上
②ワーク・ライフ・バランスをテーマとした市民向けの講演会等の開催 年1回				②年1回以上	②年1回以上

D O (実施)	<b>R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)</b>		
	内容	回数	参加者数(男女別)
	①市公式ウェブサイトの情報を更新した。また、国・県等からくる、ワーク・ライフ・バランスの内容を含むパンフレット等を、企画政策課窓口及び1階情報公開コーナーに設置した。 ②ワーク・ライフ・バランスをテーマとした市民向けの講演会等は開催していない。	①1回  ②0回	  ②0人

<b>R2年度の数値成果</b>		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
①市公式ウェブサイトへの情報掲載やリーフレットの配布 1回				①年5回以上(随時)	①年1回
②ワーク・ライフ・バランスをテーマとした市民向けの講演会等の開催 0回				②年0回	②年0回

R2予算額(千円)	R2予算額(再掲の場合)	R2決算見込額	R3予算額
0		0	0

C H E C K (評価)	<b>【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) ワーク・ライフ・バランスについて情報提供を行った。  (課題・問題点) 講演会や講座については、男女共同参画には、ワーク・ライフ・バランスだけではなく幅広いテーマがあり、茂原市ハートフルフェスタ実行委員会は毎年様々なテーマで講演会を企画するため、毎年ワーク・ライフ・バランスをテーマとする事は難しい。

A C T (改善)	<b>担当課による、次年度における取り組み予定</b>
	市公式ウェブサイトへの情報提供やリーフレット配布について、随時積極的に行う。

<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<p>(評価の根拠) テーマに挙げられなかったとはいえ、それに準ずる代替手段がとれていない。</p> <p>(課題・問題点) 発信方法の変更が必要。</p>		
<b>重点評価事業</b>		
<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】
<b>総合評価とその判定理由</b>		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画したことができてない。具体性がなく評価しにくい。</li> <li>・国・県等からくるパンフレットによる情報発信を行うことができた。</li> <li>・リーフレットの配布のみでは意味がないと思う。</li> <li>・次年度における取組予定にあった、「入札時に企業の条件として労働環境を入れること」について、管財課の反応が不明であり残念。</li> </ul>		
<b>改善策等の提言</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市公式ウェブサイトでの情報発信を強化されたい。</li> <li>・ワークライフバランスの事なので、ハートフルフェスタ実行委員会とは、別に企画しても良いのでは？</li> <li>・ワークライフバランスをテーマとしたセミナーを商工観光課・商工会議所と協力して実施されたい。</li> <li>・ワークライフバランスの実現のためには、事業主の理解が不可欠である。事業番号44との切り分けが難しいかもしれないが、情報発信にあたっては、事業主の理解向上も意識したものが求められる。</li> <li>・入札時に企業にワーク・ライフ・バランスについて、国・県からのパンフレットを配布するとともに、市としてアンケートを実施してワーク・ライフ・バランスの推進状況を把握するのはどうか。</li> </ul>		

CHECK (評価)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	44	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	事業所へのワーク・ライフ・バランスの推進	主要課題	Ⅳ-2 労働の場における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅳ-2(1)ワーク・ライフ・バランス意識の浸透

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲		
	「働き方改革」等国・県等の施策を、市公式ウェブサイトの活用による情報提供や、市内の「社員いきいき！元気な会社宣言企業」(市内10社が登録)等の情報発信に努める。		

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画				
	関係機関と連携しワーク・ライフ・バランスについての意識啓発に努めるとともに、広報・ホームページなどを活用し「県男女共同参画推進事業所表彰制度」の周知を行い、企業等の積極的な取り組みを促進する。また、各事業所において長時間労働の是正や育児・介護休業取得率向上等の両立支援の取り組みが促進するよう啓発を実施する。				
	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)				
	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入				
	①市ウェブサイト等を積極的に活用するとともに、関係機関のパンフレットの配布によりワーク・ライフ・バランスに関する情報提供及び周知に努める。 ②他市町村や企業における先進的な取り組み等を調査し、本市における促進施策を検討する。				
R2年度の数値目標		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入(添付書類 有・無)						
	内容		回数	参加者数(男女別)			
	①市公式ウェブサイト「働き方改革」や「ワークライフバランス」へのリンクの掲載、パンフレットの配架による情報発信を行った。						
	②先進的な取り組み等を調査し、推進施策を検討した。						
	R2年度の数値成果		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)	
R2予算額(千円)		R2予算額(再掲の場合)		R2決算見込額		R3予算額	
0		0		0		0	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 国や県の施策の周知を市公式ウェブサイトにおいて、一元的に掲載した。 (課題・問題点) with、afterコロナ時代に対応した効果的な情報発信や、他市町村の取組みについて調査する必要がある。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定		
	国・県等の施策に関する情報を、市公式ウェブサイト上でさらに充実させ、千葉県が取り組む「社員いきいき！元気な会社宣言企業」(市内10社が登録)等の情報発信を強化する。		

<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 周知の方法がウェブサイトに残っている。事業が、検討段階で終わってしまっている。		
(課題・問題点) 「社員いきいき！元気な会社宣言企業」の市内登録者数を増やせないか。また、商業セミナー等で周知できないか。		
<b>重点評価事業</b>		
<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	1	1…不十分である 【50%未満】
<b>総合評価とその判定理由</b>		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
周知の方法が市公式ウェブサイトに残っており、積極性がみられない。		
<b>改善策等の提言</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年達成できなかった「他市町村や企業における先進的な取り組み等を調査、本市における促進施策の検討」については、具体的な結果が求められる。</li> <li>・「社員いきいき！元気な会社宣言企業」に登録されている会社をロールモデルとして公表・紹介してはどうか。</li> <li>・千葉県の「社員いきいき！元気な会社宣言企業」の市内登録企業の増加に向けた具体策の検討・実施が求められる。企画政策課と連携して、公共事業入札時にアンケートを実施し、パンフレットの配布により「社員いきいき！元気な会社宣言企業」の増に努められたい。</li> <li>・国や県の施策を掲載するだけでなく、その後どのように活用されているのか追跡をされたい。</li> </ul>		

CHECK (評価)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	45	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	市職員へのワーク・ライフ・バランスの推進	主要課題	Ⅳ-2 労働の場における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	Ⅳ-2(1)ワーク・ライフ・バランス意識の浸透

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲
	ワーク・ライフ・バランスの実現にむけて、超過勤務時間の改善への意識改革が必要である。

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画				
	市職員自らワーク・ライフ・バランスを実践できるよう、意識啓発を行うとともに、各種休暇・休業制度及び育児・介護休業制度が男女ともに偏りなく活用できるよう情報提供を行う。				
	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)				
	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入				
	「茂原市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」及び働き方改革にかかる時間外勤務の上限規制と年次有給休暇取得を推進し、超過勤務の縮減と職員の健康管理・公務能率の向上を図る。				
R2年度の数値目標		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
特定事業主行動計画の実施状況の公表 年1回		/	/	年1回以上	年1回

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入(添付書類 有・無)				
	内容		回数	参加者数(男女別)	
	①特定事業主行動計画に基づき、女性活躍推進法に基づく女性の職業選択に資する情報及び実施状況を市公式ウェブサイトで公表した。		①年1回		
	②「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」で事業主は従業員に対して、時間外労働の上限規制を行うこととなったことにより、職員の超過勤務及び健康状態の把握のために産業医等との面談を実施し、職員及び所属長に対して適切な指導をした。				
	R2年度の数値成果		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)
特定事業主行動計画の実施状況の公表 年1回		/	/	年1回	年1回
R2予算額(千円)		R2予算額(再掲の場合)		R2決算見込額	
0				0	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 月45時間以上の超過勤務を行った職員の健康状態の把握のために、年間を通じて、産業医が14名(7所属)の職員と面接指導を実施した。面接指導を受けた職員の状況を把握し、必要に応じて健康を保持するために必要な措置を講じた。		
(課題・問題点) 新型コロナウイルス感染症対策等により職員の通常業務に負荷がかかり、超過勤務時間を縮減することは困難である。			

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	令和3年4月以降、職員の出退勤及び時間外勤務等を管理する「勤務管理システム」が本格稼働するため、超過勤務時間の把握等に活用し、働き方改革を推進したい。

CHECK (評価)	【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 数値目標は達成している。		
	(課題・問題点) 特定事業主行動計画についての周知に努められたい。また、年1回の公表という数値目標に今後の展望がないため、数値目標の見直しが必要と思われる。		
	重点評価事業		
	【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	項目評価基準	評価	【項目評価基準】
	(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している 【90%以上】
	(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】	
総合評価とその判定理由			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)	
改善策等の提言			

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	46	基本目標	IV ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	農業における女性グループ活動の支援と女性起業の育成	主要課題	IV-2 労働の場における男女共同参画
課係名	農政課	施策の方向	IV-2(4)農業・自営業等における男女共同参画の促進

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲
	県や麦の会と連携をとり、女性農業者や女性起業者の育成を推進していく。

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画				
	女性農業者グループ「麦の会」が郷土料理や地元農産物をPRすることにより、地産地消や食育への取り組みを促進する。女性農業者に県主催の起業講座や研修会を通して知識や技術を向上してもらい女性起業者を育成するとともに、6次産業の補助金制度等の情報提供により女性の起業を推進する。				
	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)				
	(41) 女性の農業起業者数 5人以上				
	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入				
①「もばらふるさと塾」において、市内で活躍している農業者や「麦の会」と交流したり、直売所に行ってもらうことで、農業や起業に対する意識を高めてもらう。 ②市内の女性農業者に各種講座や研修会に参加してもらうことで、知識や技術を向上してもらう。 ③起業を目指す女性に対し、6次産業の補助制度等の情報提供を行う。					
R2年度の数値目標		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
(41) 女性の農業起業者数 年1人		(41)年1人	(41)年1人	(41)年1人	(41)年1人

D O (実施)	R1年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)				
	内容	回数	参加者数(男女別)		
	R1年度に起業した方はいなかった。	0	0		
	R2年度の数値成果	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
	(41) 女性の農業起業者数 0人	(41)年1人	(41)年1人	(41)年1人	(41)年0人
R2予算額(千円)		R2予算額(再掲の場合)		R2決算見込額	R3予算額
60					

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) 令和2年度に実績がなかったため			
(課題・問題点)			

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	女性農家に対し、起業に対する周知や研修等の参加を呼びかけ

<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<p>(評価の根拠) 令和2年度の実績がなかったため。</p> <p>(課題・問題点) 起業までたどりつかなくとも、つながりそうな人はどれくらいいるのか等、もう少し詳細をあげて欲しい。また、リモート研修や、起業するための補助の説明等、コロナ禍における代替案を検討されたい。</p>		
<b>重点評価事業</b>		
<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	1	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	1	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	1	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	1	1…不十分である 【50%未満】
<b>総合評価とその判定理由</b>		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
実績がない。		
<b>改善策等の提言</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性農業家に対し、積極的な取り組みの検討が必要。</li> <li>・対象を農家だけでなく、市民全般に働きかけてはどうか。</li> <li>・この事業は計画から削除してもよいのではないか。</li> <li>・JAと連携して、女性農家に対し起業の周知等に取り組まされたい。</li> </ul>		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	47	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	農業における家族経営協定締結の促進	主要課題	Ⅳ-2 労働の場における男女共同参画
課係名	農政課	施策の方向	Ⅳ-2(4)農業・自営業等における男女共同参画の促進

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲
	相談者とともに他の家族経営への説明を行う。

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画				
	農業経営について、特に夫婦の場合女性の役割や労働時間、労働報酬などの就業条件が曖昧になりやすいことから、経営方針や役割分担、働きやすい就業環境などについて家族間合意の上「家族経営協定」の締結を促進し、それぞれが主体的に経営に参画できる環境の整備及び農業経営の改善につなげていく。				
	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)				
	(42) 家族経営協定の新規締結数 5件以上				
	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入				
	①県と協力し、認定農業者の更新時や新規就農者の認定時を中心に説明することで、家族経営協定の締結を推進する。				
R2年度の数値目標		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
(42) 家族経営協定の新規締結数 年1件		(42)年1件	(42)年1件	(42)年1件	(42)年1件

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	R2年度家族協定された方はいなかった。		0	0		
	R2年度の数値成果		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
	(42) 家族経営協定の新規締結数 0件		(42)年1件	(42)年2件	(42)年0件	(42)年0件
	R2予算額(千円)		R2予算額(再掲の場合)		R2決算見込額	
0				0		

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 令和2年度の実績がない。 (課題・問題点)		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	農家に対し、家族協定の紹介と周知を行う。

<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<p>(評価の根拠) 令和2年度の実績がないため。</p> <p>(課題・問題点) 協定を結ぶことで、どのようなメリットがあるのかを周知していく必要がある。また、JAからの働きかけ・JAへの働きかけをしてみようか。</p>		
<b>重点評価事業</b>		
<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	1	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	1	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	1	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	1	1…不十分である 【50%未満】
<b>総合評価とその判定理由</b>		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<p>実績がない。</p>		
<b>改善策等の提言</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営者が妻の農家があるか把握して経営状態を良好にするためには、女性の就業条件を研究する必要がある。</li> <li>・家族経営協定そのものが状況に合致しているのか。家族経営協定の締結についてのメリット等の説明する機会を作り、今の時代にあった経営ができるようサポートする必要がある。</li> <li>・JAとの協働が必要不可欠。</li> <li>・施策の必要性が分からない。長期にわたって実績が上がっていないのは、農業就労家族の意識の問題ではなく、施策の必要性が無いとも考えられる。本施策の継続の必要性について、再検討してもよい時期にきているのではないか。</li> </ul>		

CHECK (評価)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	48	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	高齢者の自主活動への支援	主要課題	V-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	高齢者支援課	施策の方向	V-1(1)高齢者・障害者施策の充実

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲
	市バスの予約等により、活動支援を行う。 各種行事を市公式ウェブサイトや広報等で周知し、新たな仲間づくりと地域での活動の活発化を図る。

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画
	各種スポーツや文化活動、友愛活動、社会奉仕などを通し、仲間づくりの中で、男女がともに楽しく健康に過ごし、社会に貢献することを目的とする長寿クラブ等の自主活動に対し支援を行い、活動の活性化を図る。また、地域で自主的に行われている健康づくり活動等と連携し、運動教室や介護予防教室等を開催することで、支援の一層の充実を図る。

P L A N (計画)	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)
	(43) 茂原市長寿クラブ連合会の会員数 3,000人以上

P L A N (計画)	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入
	・市バスの予約等により、活動支援を行う。 ・各種行事を市公式ウェブサイトや広報等で周知し、新たな仲間づくりと地域での活動の活発化を図る。

R2年度の数値目標		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
(43) 茂原市長寿クラブ連合会の会員数 目標 3,000人以上		(43) 年89人増	(43) 年86人増	(43) 年79人増	(43)3,000人以上

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入(添付書類 有・無)			
	内容	回数	参加者数(男女別)	

D O (実施)	・茂原市長寿クラブ連合会の会員数(R2.4.1現在)		1,742人(男811、女931) (R2.4.1時点)	
	・市公式ウェブサイトを活用し、長寿クラブの活動等の周知活動を行った。			

R2年度の数値成果		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
(43) 茂原市長寿クラブ連合会の会員数 1,742人		(43) 2,230人	(43) 2,163人	(43) 1,945人	(43) 1,871人
R2予算額(千円)	R2予算額(再掲の場合)	R2決算見込額		R3予算額	
2,113		1,988		2,020	

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)

C H E C K (評価)	(評価の根拠) コロナ禍に伴い多くの活動が休止となった。
	(課題・問題点) 長寿クラブ連合会の会員数が減少している。また、コロナ禍のため活動について、先行きが不透明である。

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	長寿クラブ連合会や長寿クラブ連合会の事務局である茂原市社会福祉協議会と連携をはかり、周知や活動支援等を行う。

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<p>(評価の根拠) 数値目標を達成できていない。</p> <p>(課題・問題点) 各事業のさらなる周知に努められたい。また、男女共同参画という点、女性に焦点がいきがちだが、男性の方が孤立しやすい面がある。男性の参加者増加に努められたい。</p>		
重点評価事業		
【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	2	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	2	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】
総合評価とその判定理由		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<p>・コロナ禍に伴い中止となった活動が多いことは理解できるが、先行き不明ではなく、集まりを少人数にして開催する等、工夫して計画を考えることができたのでは。</p> <p>・以前にも提言したが、例えば実生活に役に立つ防災に関する勉強会等を企画・実施してもらいたい。</p> <p>・長寿クラブ会員数の減少はコロナ禍以前から長期的に続いているにも関わらず、具体的な対応策が見えてこない。「市公式ウェブサイトを活用し、長寿クラブの活動等の周知活動を行った」とあるが、ウェブサイトアクセスできる高齢者がどの程度いるのか疑問である。</p> <p>・次年度の取り組み予定として社会福祉協議会との連携と書かれているが、具体策は書かれていない。</p>		
改善策等の提言		
<p>・数値目標の長寿クラブ会員3,000人はもはや現実的ではない。会員減少の原因を分析し、現実的な対応策を立案されたい。</p> <p>・「長寿クラブ」という名称は“年寄り”や“余生”の印象を持たせる。高齢者の人口が3割を超え、高齢でも若々しい人が増えている時代にそぐわないのでは。</p> <p>・数値目標、実施内容とも長寿クラブの活動ばかり書かれているが、長寿クラブに入ることが最終目的ではないのでは。事業名「高齢者の自主活動への支援」が対象としているものは、ナルク(「生きがい、助け合い、自立、奉仕」を理念としてボランティア活動を行う団体)やもばら百歳体操(介護予防のための体操)に取り組む自主団体等、もっと多種多様に渡るはず。補助金の交付やそれ以外の支援を、より多くの団体・活動に提供されたい。</p> <p>・高齢男女が共に参加しやすいような内容となるよう、活動内容を決定する側に女性を増やし、もっと女性の視点を取り入れて欲しい。</p> <p>・活動に参加しない・できない一人暮らしの方や寝たきりの方が孤立しないよう、声かけや話し相手の活動の支援を検討されたい。</p> <p>・生活の足がない高齢者も参加できるよう、オンラインでフレイル予防教室等の行事を実施するよう検討されたい。</p> <p>・R3は、ワクチン接種も進んでいるので、感染予防に留意しながら、積極的な施策の遂行を望む。</p>		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	49	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	障害者(児)の地域生活支援の充実	主要課題	V-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	障害福祉課	施策の方向	V-1(1)高齢者・障害者施策の充実

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲			
	令和元年度と同様に取り組む。			

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画				
	障害のある人もない人も共に暮らせる地域づくりという考えのもとに、障害者と介護者のための障害福祉サービスや地域生活支援事業を充実し、「介護は女性の役割」という社会通念を是正し、社会で支える介護の推進を図る。				
	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)				
	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入				
	障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく、居宅介護、短期入所、同行援護、児童発達支援、放課後等デイサービス、日中一時支援及び移動支援等のサービスを提供する。				
R2年度の数値目標		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)				
	内容		回数	参加者数(男女別)	
	R2年4月からR3年2月までの各サービスの総延利用者数 3,731人 <内訳> (R1実績 3,525人)			男女別データはなし	
	サービス名	延利用者数	実利用者数		
	居宅介護	930人( 770人)	87実人/月( 69実人/月)		
	短期入所	258人( 327人)	23実人/月( 31実人/月)		
	同行援護	84人( 106人)	9実人/月( 10実人/月)		
	児童発達支援	547人( 527人)	43実人/月( 50実人/月)		
	放課後等デイサービス	1,415人(1,155人)	125実人/月(104実人/月)		
	日中一時支援	401人( 512人)	56実人/月( 40実人/月)		
移動支援	96人( 128人)	14実人/月( 11実人/月)			
R2年度の数値成果		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
R2予算額(千円)		R2予算額(再掲の場合)		R2決算見込額	R3予算額
383,676				419991	449149

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点			
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)	
	(評価の根拠) 個々のケースに応じて障害福祉サービス及び地域生活支援事業により適正な支援を実施することで支援体制を整え、社会で支えていくための介護の推進を図ることができた。障害福祉サービスが適切に提供されたことにより、障害児・者の介護を社会全体で支える体制が整備され、介護は女性の役割という社会通念を是正し、社会で支える介護の推進の一端を担うことができた。 (課題・問題点) 障害福祉サービス等の周知活動を引き続き行う必要がある。			

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定			
	関係機関と協働で障害福祉サービスについての周知活動を行っていく。また、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく各種サービスについては、質の高いサービスを引き続き、維持できるよう取り組んでいく。			

**【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等**

- A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)
  B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)
  C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)

(評価の根拠) 1次評価と同じ。

(課題・問題点) 利用者が増えたことから、サービスの周知に努められたことと見受けられる。

**重点評価事業**

**【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点**

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

**総合評価とその判定理由**

- A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)
  B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)
  C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)

CHECK (評価)

・総延利用者数は増加しており、十分な取組がなされていると考えられる。個々の項目をみても、大きく減少しているものはなく、均衡のとれた施策が行われたと考えられる。コロナ禍においても活動を縮小せず、前年を上回る成果を上げたことは高く評価できる。  
 ・実施結果に記載されている様々な障害福祉サービスの現場の活動を支援・指導するのが障害福祉課の役割だと思うが、現場の活動をまるで市役所が運営しているように報告していることに違和感を抱く。指導管轄する立場の障害福祉課が実際に取り組んだ活動についての具体的記述が欠けている。  
 ・取り組み計画にある「介護は女性の役割」という社会通念の是正について、障害福祉課が現場を支援・指導する際、どのように配慮しているのか記述がない。

**改善策等の提言**

・利用者が減少しているサービスについて原因を把握されたい。  
 ・男女ともに利用しやすいサービスの展開を望む。利用者の内訳について男女別データがあれば記載されたい。  
 ・「担当課による、次年度における取り組み予定」について、ここ何年か「前年度と同様に取り組む」とだけ書かれている。課題・問題点をきちんと把握し、具体的に記述されたい。  
 ・各サービス提供施設と連携する中で、またそれぞれの現場に、男女共同参画の側面でのどのような課題・問題点があるのか把握し、指導・支援されたい。そしてそれを市民にわかるように記述されたい。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	50	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	障害者(児)の相談事業の充実および社会復帰の促進	主要課題	V-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	障害福祉課	施策の方向	V-1(1)高齢者・障害者施策の充実

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲
	令和元年度と同様に取り組む。

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画				
	障害福祉サービスの利用に必要な情報の提供や助言、支援を行うとともに、地域生活支援センターと連携し、身体障害者相談員、知的障害者相談員および保健師等による相談支援体制の充実、社会復帰に向けての支援の促進を図る。				
	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)				
	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入				
	①障害者(児)の日常生活等の相談、各種福祉サービスの提供。 ②長生地域生活支援センター、生活支援センターつくも、長生夷隅地域のくらしを支える会、障害者相談員、保健師等により、窓口相談及び家庭訪問等の支援を実施。				
R2年度の数値目標		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
		/	/	/	/

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入(添付書類 有・無)				
	内容		回数	参加者数(男女別)	
	R2年4月から令和3年2月までの延相談件数 5,247件 (R1実績 4,868件)				
	〈内訳〉長生地域生活支援センター 4,409件 (R1実績 3,866件) 生活支援センターつくも 245件 (R1実績 200件) 障害者相談員 179件 (R1実績 248件) 保健師 414件 (R1実績 554件)				
	R2年度の数値成果		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)
		/	/	/	/
R2予算額(千円)		R2予算額(再掲の場合)		R2決算見込額	R3予算額
14,163				14,187	14,072

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 全ての障害に対する相談支援体制の充実を図るとともに、障害者(児)の家族等が抱えている悩みや問題を相談支援事業により整理することで、障害福祉サービス等の利用に繋げ、社会全体で支える介護の推進を図ることができた。  (課題・問題点)		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	令和2年度と同様に取り組む。

**【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等**

- A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)
  B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)
  C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)

(評価の根拠) 1次評価と同じ。

(課題・問題点) 相談したい人が相談できる体制が整っていることと見受けられる。件数は増えているが、予算は減額となっているが、問題ないか？

**重点評価事業**

**【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点**

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

**総合評価とその判定理由**

- A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)
  B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)
  C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)

CHECK (評価)

・総相談件数は14%増加しており、十分な取組がなされていると考えられる。コロナ禍においても、前年を上回る成果を上げたことは高く評価できる。  
 ・障害者相談員、保健師による相談件数は前年度より減少しているが、市の体制に問題はなかったのか。R3予算がR2予算より減少しているのも気になる。  
 ・長生地域生活支援センターの相談件数が多すぎないかと疑問を持つ。  
 ・1次評価の課題・問題点に記載がない。「担当課による、次年度における取り組み予定」についても、「令和2年度と同様」ではなくきちんと記載して欲しい。市民がわざわざ昨年度の評価シートを探して見なければわからないような記載の仕方は不親切。この評価シート1枚ですべてわかるように記載して欲しい。

**改善策等の提言**

・「社会全体で支える介護の推進を図ることができた」とあるが、障害者の家族、特に女性に多くの負担がかかっていないか、注意して見守ってもらいたい。  
 ・可能であれば、相談者の男女内訳も示して欲しい。男女共同参画の視点から、何か見えてくる課題があるかもしれない。  
 ・R3は、ワクチン接種も進んでいるので、感染予防に留意しながら、相談件数の回復を期待する。  
 ・長生地域生活支援センターや生活支援センターつくもが受けている相談も市がやっていることとして報告していることに違和感を抱く。(障害者相談員、保健師による相談は障害福祉課の窓口で受けているという理解でいいのか?)支援センターがやっていることと、障害福祉課がやっていること(相談者を支援センターに受け渡す等)を分けて、障害福祉課としては何をやったのか、具体的に記載して欲しい。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	51	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	精神保健相談の実施および社会復帰の支援	主要課題	V-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	V-1(1)高齢者・障害者施策の充実

A C T (改善)	<b>R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲</b>
	「こころの健康相談」を継続すると共に、思春期事業と連携し、学校と協働しながらメンタルヘルスに関する啓発活動を強化する。また、生活困窮者については、生活保護受給者を対象とした「自立支援者栄養健康相談」を通して、個別支援を行う。そして、相談事業にかかわる職員に対し、より専門的なゲートキーパー講習を行い、質の向上を図る。

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた具体的取り組み計画</b>
	保健師による「健康相談」や各種健(検)診を通じて、精神疾患を持つ方をはじめとした自殺予防等のための相談を充実させるとともに、精神科病院・保健所等の各相談専門機関や専門家等との連携をはかり、こころの健康づくりの支援に努める。

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)</b>
	<b>R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入</b>

P L A N (計画)	性差やライフステージに応じた健康問題、経済・生活問題、家庭問題等に対し、心身ともに健康で安定した社会生活が送れるよう関係機関と連携しながら総合的に支援する。
	①② ゲートキーパー養成講座により、自殺の危険を示すサインに気付き適切な対応が出来る人を増やす。 ③ こころの健康相談により、相談者が抱える悩みに対応し必要な機関へつなぐ。 ④⑤ こころの健康に関するリーフレット配布により、ストレスへの対処方法や相談先を周知する。

D O (実施)	<b>R2年度の数値目標</b>	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
	①職員向けゲートキーパー養成講座 1回、50人 ②ゲートキーパーに関する出前講座、健康教室 2回 ③こころの健康相談 11回 44人 ④乳幼児家庭訪問事業にて、産後うつに関するチラシ配布と保健指導 500件 ⑤職員健診でのチラシ配布 650人、思春期健康教室でのチラシ配布 780人	①100人 ②5回	①50人×2回 ②7回	①50人 ②1回 ③6回24人 ④12回24人 ⑤550件 ⑥700人	①50人 ②2回 ③16回64人 ④500件 ⑤650人、780人

D O (実施)	<b>R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)</b>																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>回数</th> <th>参加者数(男女別)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①職員向けゲートキーパー養成講座:新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止</td> <td>① -</td> <td>①0</td> </tr> <tr> <td>②ゲートキーパーに関する出前講座:新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止</td> <td>② -</td> <td>②0</td> </tr> <tr> <td>③こころの健康相談</td> <td>③11</td> <td>③男15 女12</td> </tr> <tr> <td>④乳幼児家庭訪問事業にて、産後うつに関するチラシ配布と保健指導</td> <td>④454</td> <td>④女454</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑤7</td> <td>⑤男女比不明</td> </tr> </tbody> </table>	内容	回数	参加者数(男女別)	①職員向けゲートキーパー養成講座:新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止	① -	①0	②ゲートキーパーに関する出前講座:新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止	② -	②0	③こころの健康相談	③11	③男15 女12	④乳幼児家庭訪問事業にて、産後うつに関するチラシ配布と保健指導	④454	④女454		⑤7
内容	回数	参加者数(男女別)																
①職員向けゲートキーパー養成講座:新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止	① -	①0																
②ゲートキーパーに関する出前講座:新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止	② -	②0																
③こころの健康相談	③11	③男15 女12																
④乳幼児家庭訪問事業にて、産後うつに関するチラシ配布と保健指導	④454	④女454																
	⑤7	⑤男女比不明																

D O (実施)	<b>R2年度の数値成果</b>	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
	①職員向けゲートキーパー養成講座(中止) ②ゲートキーパーに関する出前講座(中止) ③こころの健康相談(11回 27名) ④乳幼児家庭訪問事業にて、産後うつに関するチラシ配布と保健指導454件 ⑤職員健診におけるメンタルヘルスに関するチラシ配布 4日500名 思春期教室でのチラシ配布 3日 300名 ※チラシは専門医等の監修により業者が作成したもの。 ※思春期教室は、心身の健康や性に関する知識の他、がんや生活習慣病の予防等、幅広い内容。	①45人 ②2回	①53人 ②0回	①36人 ②1回22人 ③8回10人 ④5回5人 ⑤396件 ⑥556人	①36人 ②2回56人 ③16回56人 ④489人 ⑤468人、271人

C H E C K (評価)	<b>R2予算額(千円)</b>	<b>R2予算額(再掲の場合)</b>	<b>R2決算見込額</b>	<b>R3予算額</b>
	413		389	490

C H E C K (評価)	<b>【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)

A C T (改善)	<b>担当課による、次年度における取り組み予定</b>
	性差やライフステージに応じた健康問題、経済・生活問題、家庭問題等に対し、心身ともに健康で安定した社会生活が送れるよう関係機関と連携しながら総合的に支援する。また思春期教室でのリーフレット配布によるSOSの出し方教育や思春期の子どもをもつ保護者向けのセミナー等を開催し、若年層への自殺対策の取り組みを強化していく。

<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<p>(評価の根拠) 1次評価と同じ。</p> <p>(課題・問題点) コロナ禍でも、実施可能な事業を行っている点は評価できる。職員向けのゲートキーパー養成講座等については、リモートでの実施等の代替策の検討をしてみてください。</p>		
<b>重点評価事業</b>		
<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>4</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	<b>3</b>	1…不十分である 【50%未満】
<b>総合評価とその判定理由</b>		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<p>・コロナ禍に伴い、ゲートキーパー関係の講座は開催できなかったが、相談・指導業務等、実施可能な事業を行っており、一定の成果を上げている。取り組み計画も非常に具体的であり、男女別のデータも示されている。</p> <p>・コロナ禍においてより多くの支援が必要となると思われるので、予算が増額したことはとてもよい。</p> <p>・ゲートキーパー関係の講座はオンラインでも開催すべきではなかったか。</p>		
<b>改善策等の提言</b>		
<p>・相談者への対応の際、寄り添った心のある対応を希望する。</p> <p>・若年層の自殺対策については、教育委員会との連携も視野に入れて取り組まれない。</p> <p>・R3は、ワクチン接種も進んでいるので、引き続き感染防止に努めつつ、施策を実施されたい。ゲートキーパー養成講座等については、オンライン開催も検討されたい。</p>		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	52	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	男女共同参画の視点を取り入れた防災対策の充実	主要課題	V-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	防災対策課	施策の方向	V-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進

A C T (改善)	<b>R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲</b>
	引き続き、住民参加型の地域防災訓練を開催し、地域防災力の向上に努める。また、女性用の要配慮者に対応した備蓄品の購入を行う。 あわせて、避難所の運営においても、女性の意見を取り入れることができるように体制づくりを行う。

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた具体的取り組み計画</b>				
	災害時の避難所における男女のニーズの違いを考慮し、女性や要配慮者に配慮した取り組みを進め、地域防災力の向上に努める。				
	<b>第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)</b>				
	<b>R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入</b>				
	①地域防災訓練において、避難所運営について啓発する。 ②備蓄品の更新・拡充において要配慮者に必要な物品を考慮する。 ③洪水ハザードマップをウェブサイト等、わかりやすい情報提供を行う。				
<b>R2年度の数値目標</b>		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
		/	/	/	/

D O (実施)	<b>R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入(添付書類 有・無)</b>						
	内容		回数	参加者数(男女別)			
	①新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、地域防災訓練は中止となった。						
	②避難所に女性の意見を取り入れ、液体ミルクや、母子で入ることのできるテントを配備した。(液体ミルクは本庁に備蓄、テントは全避難所に配備)						
	③洪水ハザードマップを新聞折り込みで配布し、市公式ウェブサイト等により、わかりやすい情報提供及び周知に努めた。						
<b>R2年度の数値成果</b>		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)		
		/	/	/	/		
<b>R2予算額(千円)</b>		<b>R2予算額(再掲の場合)</b>		<b>R2決算見込額</b>		<b>R3予算額</b>	
5,123				4,762		3,992	

C H E C K (評価)	<b>【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 女性の声を取り入れた避難所の整備等を行ったが、地域防災訓練が実施できず、避難所運営の啓発ができなかった。 (課題・問題点) 地域防災訓練が中止になった場合の代替案を考慮しなければいけない。		

A C T (改善)	<b>担当課による、次年度における取り組み予定</b>
	引き続き、住民参加型の地域防災訓練を開催する予定であり、地域防災力の向上に努める。また、女性や要配慮者に対応した備蓄品の購入を行う。 あわせて、避難所運営においても女性の意見を取り入れた体制づくりの構築を行う。

CHECK (評価)	<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 1次評価と同じ。災害時に、女性視点での避難所開設等は評価できる。		
	(課題・問題点) 災害コーディネーターの養成に女性が参加しやすいように工夫されたい。災害担当の女性の割合が少なく、一部の職員に負担がかかる可能性があるため、人員配置を考慮されたい。		
	<b>重点評価事業</b>		
	<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
	(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している 【90%以上】
	(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
	(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	<b>3</b>	1…不十分である 【50%未満】	
<b>総合評価とその判定理由</b>			
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍のため地域防災訓練は実施できなかったが、他の施策については成果を上げている。特に、女性の視点を取り入れた避難所の整備については評価できる。</li> <li>・コロナ禍においても災害が発生する可能性はあるため、地域防災訓練についても、こうした中での避難所運営について工夫・訓練が必要だと思う。</li> </ul>			
<b>改善策等の提言</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災訓練が開催できない場合は、オンライン配信等、代替案を検討されたい。</li> <li>・コロナ禍の避難所運営について、感染予防に配慮した設営や衛生品の確保、乳幼児や女性の必需品の備蓄について、女性の視点を取り入れられたい。</li> <li>・災害コーディネーター養成講座がもっと身近な会場で開催され、参加しやすいようにして欲しい。茂原市の災害コーディネーター80名のうち女性は10名とのことで少ない。住民参加の避難所運営体制の強化のためにも、日中在宅の人(多くは女性)を対象としたセミナーを開催してはどうか。</li> <li>・茂原市防災計画について、市民がわかりやすいように、立場ごと(小中学生、高校生、乳幼児の親、高齢者、女性等)に知るべきことをまとめて、それをもとに講習会(オンライン配信も)・訓練等を実施し、市民一人ひとりが自分ごととして理解してもらい活動を積み重ねることが必要だと思われる。</li> </ul>			

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	53	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	自主防災組織の育成	主要課題	V-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	防災対策課 ※R1総務課より移管	施策の方向	V-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進

A C T (改善)	<b>R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲</b>
	引き続き、自主防災組織の設立や活動の支援を行うとともに、女性が参画できるように出前講座等の機会を活用し周知していく。

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた具体的取り組み計画</b>
	平常時および災害発生時に住民自らが被害を防止・軽減するために、地域全体の安全を守る活動を行う自主防災組織について、既存の自治会単位での設立を推進する中で、男性だけでなく女性の参画も促し、育成を図ります。

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)</b>
	(44) 自主防災組織の新規設立 36団体以上

P L A N (計画)	<b>R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入</b>
	①自主防災リーダー育成の研修会を開催する。 ②既存の自主防災組織に対する資機材補助にあたり、女性の意見を取り入れるように促す。 ③出前講座時に自主防災組織への女性の参加を促す。

<b>R2年度の数値目標</b>		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
(44) 自主防災組織の新規設立 6団体以上		(44)9団体	(44)9団体	(44)5団体	(44)5団体

D O (実施)	<b>R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入(添付書類 有・無)</b>
	<b>内容</b>

D O (実施)	①新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、地域防災訓練は中止となった。	①中止	参加者合計206名 (男女比不明)
	②自主防災組織への資機材購入補助及び倉庫設置補助(女性用トイレやテント等)	②計11団体	
③出前講座への女性の参加	③申込12団体、実施7団体		

<b>R2年度の数値成果</b>		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
(44) 自主防災組織の新規設立 3団体		(44)1団体	(44)7団体	(44)4団体	(44)1団体

<b>R2予算額(千円)</b>		<b>R2予算額(再掲の場合)</b>		<b>R2決算見込額</b>		<b>R3予算額</b>	
3,773				1,778		3,141	

C H E C K (評価)	<b>【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)

C H E C K (評価)	(評価の根拠) 新規設立については3団体にとどまったものの、資機材の補助については11団体の申請があった。
	(課題・問題点) 自主防災組織の情報交換を目的とした連絡会議やリーダー育成研修会が新型コロナウイルスの影響で開催できなかったため、次年度以降は開催できなかった場合の代替案を検討する。 自主防災組織の活動について、活動実績のない組織の活性化が必要となる。

A C T (改善)	<b>担当課による、次年度における取り組み予定</b>
	引き続き、新規自主防災組織の設立や活動の支援を行うとともに、女性が参画しやすい出前講座等の機会を創出し、周知を図っていくものとする。

<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<p>(評価の根拠) 数値目標は5割達成している。③出前講座の参加者数の男女比がわからない。PLAN(計画)「②女性の意見を取り入れるように促す」とあるが、実際に実施したのかわからない。</p> <p>(課題・問題点) 次年度は、コロナ禍で中止になった自主防災組織の連絡会議や研修会について、代替策を講じる等して、活動実績のない組織の活性化にも努められたい。男女共同参画の視点から、女性の参画・参加を促すための取り組み計画や、数値目標の設定等、もっと意識されたい。</p>		
<b>重点評価事業</b>		
<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	<b>2</b>	1…不十分である 【50%未満】
<b>総合評価とその判定理由</b>		
<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<p>・自主防災組織への補助について、女性用トイレやテント等が含まれていることや、出前講座への女性の参加促進に取り組んだことは評価できる。</p> <p>・コロナ禍で対面の研修会開催ができないならば、代替研修を「次年度以降検討する」のでは遅く、すでに始めていなければならなかったのではないか。</p> <p>・第3次計画(5か年計画)に定められた数値目標が「自主防災組織の新規設立36団体以上」であるが、結果は16団体である。数値目標の達成が難しいとわかったときに、計画の見直しや対策を行わず、5か年経過したのか。</p>		
<b>改善策等の提言</b>		
<p>・実施結果について、男女別のデータを記録しておいて示して欲しい。</p> <p>・翌年度の予算が減額されないよう、自主防災組織の新規設立を促進すると共に、女性参画の必要性について出前講座等を開催して啓発されたい。</p> <p>・女性が参加しやすいよう工夫・周知するだけでなく、男女が互いに協力できる体制づくりを望む。</p> <p>・自主防災組織は、新規設立だけでなく、既存組織の運営の充実のための指導・支援にも努められたい。コロナ禍で特に気をつけるべきこと等、きめ細かい指導を望む。</p> <p>・自主防災組織の活動について、市公式ウェブサイトに掲載し、市民がわかるようにして欲しい。</p> <p>・自主防災組織には、組織づくりや炊き出し等の活動だけでなく、環境整備(例:水路や溝の整備や大雨の際に被害の出そうな箇所の把握、市役所への報告等)の活動を依頼してはどうか。また、組織間で学び合う仕組みづくりもしてはどうか。</p> <p>・女性の視点を取り入れた避難所運営については、先進的な自治体を参考に取組まれたい。</p> <p>・感染防止の観点から、連絡会議・リーダー育成研修・出前講座等については、オンライン開催も検討されたい。</p>		

CHECK (評価)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	54(生)	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	地域防犯体制の充実	主要課題	V-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	生活課	施策の方向	V-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲		
	地域の防犯活動を男女がともに担い参加を図るために、防犯組合、自治会と協力し、また広報や市公式ウェブサイト等で、より身近な防犯組織としての自主防犯団体の育成と結成を促進する。		

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画		
	住民自らが「自分たちの住む地域の安全は自分たちで守る」という強い連帯意識で実施している地域防犯活動について支援を行い、男女がともに担うことにより、地域防犯力の向上を図る。		

第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度~R2年度)における目標)			
---	--	--	--

R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入			
①自主防犯団体を育成し、活動の助成を行う。 ②防犯組合、自治会等と協力し、自主防犯団体の結成を促進する。 ③防犯パトロールを実施する。			

R2年度の数値目標	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)

R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入(添付書類 有・無)			
----------------------------------	--	--	--

内容	回数	参加者数(男女別)
①自主防犯団体の活動把握、団体へ物資等の支給(33団体1,045人の活動保険加入、33団体(県補助対象)に物資(懐中電灯腕章、防犯キャップ)を支給した。 ②茂原市防犯組合へ補助金を交付し、活動の推進を図った。 ③防犯パトロールについても男女平等に機会を与え、参加を促した。	①支給物資 懐中電灯: 21個 腕章: 40枚 帽子: 45個 活動日4,052日/年(35団体の活動日の合計) ②210千円 ③66日	①1,045人(男687人、女358人) ③119人(男119人)

R2年度の数値成果	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
R2予算額(千円)	R2予算額(再掲の場合)		R2決算見込額	R3予算額
616			586	466

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input checked="" type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた(達成度8割以上) <input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割) <input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)		
	(評価の根拠) 市の犯罪認知件数は、昨年(489件)に比べ13件、約0.26%の微増であった。活動時間の制約があり、犯罪認知件数の増減から効果进行评估することは難しいが、各地域で各団体が活発な活動をしており、効果があったと考えられる。 (課題・問題点) 防犯活動という性格上、活動の中心が男性であるため、幅広い年代の男女の参画を促すことが課題である。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定		
	地域の防犯活動を男女がともに担い参加を図るために、防犯組合、自治会と協力し、また広報や市公式ウェブサイト等で、より身近な防犯組織としての自主防犯団体の育成と結成を促進する。		

<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<p>(評価の根拠) PLAN(計画)「②自主防犯団体の結成を促進する」について、DO(実施)には補助金の交付し か書かれていない。他にも、説明会等の周知・促進を行えるのでは。</p> <p>(課題・問題点) 自主防犯団体は、現在どれだけの団体があるのか、どれだけ足りないのか、あとどれだけ結 成する必要があるのか、地区によって差があるのか等、明確にして数値目標を立てるとよいのでは。また、男 女共同参画の視点からいうと、自主防犯団体の結成数や防犯パトロールの参加者数だけでなく、その中にど れだけ女性が参画・参加しているかが重要。女性向けの、あるいは女性だからこそ活躍できる防犯活動につ いても検討されたい。</p>		
<b>重点評価事業</b>		
<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>2</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	<b>1</b>	1…不十分である 【50%未満】
<b>総合評価とその判定理由</b>		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<p>・概ね計画通り実施されているようだが、物資支給と補助金交付以外の関わり方がよくわからない。 ・コロナ禍においても一定の成果を上げている。ただし、防犯パトロールについて、男女平等に機会を与えて参 加を促したとあるが、結果として、防犯パトロールに参加したのは全員男性となっており、この点においては、 成果がみられない。</p>		
<b>改善策等の提言</b>		
<p>・数値目標を提示されたい。 ・引き続き、男女の参加の機会を促進されたい。女性参加のための具体的な方策を検討することが望まれる。 ・女性の一層の参画が望まれる。女性だからこそ活躍できる防犯活動の検討をお願いしたい。 ・活動の内容について、実際に行われていることを把握し、記載して欲しい。 ・自治会のパトロールの役割の一つは、犯罪や火災の心配がある空き家のような問題を指摘することかと思 う。</p>		

CHECK (評価)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	55	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	自らの健康を自ら管理する意識づくりについての啓発	主要課題	V-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	V-2(1)生涯を通じた健康支援

A C T (改善)	<b>R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲</b>
	各種検診について、市公式ウェブサイトや広報の他、自治会を通じて「各種検診のお知らせ」を每户配布する等周知に努めるとともに検診会場・市民健康講座・出前講座等におけるPR等、あらゆる機会を活用し健康についての意識啓発及び受診勧奨に取り組む。また、同時受診の拡充による利便性の向上及び未受診者への個別勧奨・再勧奨等により受診率の向上を図る。

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた具体的取り組み計画</b>
	疾病の早期発見を目的とした各種検(健)診の受診勧奨と健康相談、健康教育等疾病予防に向けた保健事業を推進する。また、女性特有のがんの早期発見及び受診率が低い男性への啓発を図ることで、男女ともに生涯健康でいられる社会づくりに努める。

<b>第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)</b>
--

(45)がん検診の受診率 50%(国の目標)
------------------------

<b>R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入</b>
--

- ①肺がん検診 : 45～69歳の前年未受診者で、過去5年以内に受診歴のある方に個別勧奨を実施。
- ②胃がん検診 : //
- ③大腸がん検診 : //
- ④子宮がん検診 : 新規20歳及び25・30・32・34・36・38歳に無料クーポン券を配布。  
25～50歳の平成30年未受診者で、平成28・26年に受診歴のある方に個別勧奨を実施。  
未受診者への再勧奨を実施。
- ⑤乳がん検診 : 新規40歳及び45・50・55・60歳に無料クーポン券を配布。  
35～69歳の令和元年未受診者で、過去5年以内に受診歴のある方に個別勧奨を実施。  
未受診者への再勧奨を実施。
- ⑥前立腺検診 : 新規50歳の国保未加入者及び55～79歳の前年未受診者で、過去5年以内に受診歴のある方に個別勧奨を実施。
- ⑦肝炎ウイルス検診 : 対象者の年齢制限を撤廃。  
国保未加入者で、40歳から75歳の5歳刻みの方を対象に個別勧奨を実施。
- ⑧骨粗鬆症検診 : 閉経時期を迎える40・45・50・55歳の方に個別勧奨を実施。
- ⑨特定健診及びがん検診会場にて、がん検診受診の受診勧奨及び申し込みブースを設置。
- ⑩「各種検診のお知らせ」の每户配布及び広報・Facebookでの周知。
- ⑪出前講座等を活用した普及啓発活動の実施。
- ⑫健康意識の向上を図るため、他課と連携した普及啓発活動を実施。
- ⑬国の推奨するリーフレットを活用した個別勧奨の実施。
- ⑭口腔がん検診の実施

<b>R2年度の数値成果</b>	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
(45)がん検診の受診率 50%(国の目標)	(45)50%	(45)50%	(45)50%	(45)50%

<b>R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入(添付書類 有・無)</b>
---

内容	回数	参加者数(男女別)
①～⑧、⑭各種検診を実施したが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各種検診受診者の定員数が減となり、個別勧奨することができなかった。 ④⑤無料クーポンの配布については実施 ⑨⑫新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。 ⑩⑪⑬⑭計画のとおり実施		

<b>R2年度の数値成果</b>	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
(45)がん検診の受診率 10.4% 肺がん7.7%、胃がん5.0%、大腸がん8.4%、子宮がん13.1%、乳がん17.9%	(45)10.3% 肺8.9% 胃5.2% 大腸10.1% 子宮6.6% 乳20.6%	(45)10.5% 肺10.1% 胃5.1% 大腸9.9% 子宮7.2% 乳20.4%	(45)11.0% 肺11.8% 胃5.2% 大腸10.2% 子宮7.4% 乳20.4%	(45)12.2% 肺11.5% 胃4.8% 大腸9.5% 子宮14.4% 乳20.6%

<b>R2予算額(千円)</b>	<b>R2予算額(再掲の場合)</b>	<b>R2決算見込額</b>	<b>R3予算額</b>
97,113		82,833	100,270

<b>【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>
--

- A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)
  B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)
  C:事業の対象の見直しが必要 (達成度3割以下)

(評価の根拠) コロナ禍で個別勧奨できず、講座等の機会も減ったが、できる範囲での普及啓発活動の実施、チラシの配布、広報、市公式ウェブサイト等での周知を行い、ある程度の成果があった。  
(課題・問題点) コロナ禍での検診方法を検討し、継続した受診に結び付けることが重要になる。

C  
H  
E  
C  
K  
(評価)

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	各種検診について、市公式ウェブサイトや広報の他、自治会を通じて「各種検診のお知らせ」を毎戸配布する等周知に努めるとともに検診会場・市民健康講座・出前講座等におけるPR等、あらゆる機会を活用し健康についての意識啓発及び受診勧奨に取り組む。また、同時受診の拡充による利便性の向上及び未受診者への個別勧奨・再勧奨等により受診率の向上を図る。

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等
---

<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象の見直しが必要 (達成度3割以下)
--	--	---

(評価の根拠) 数値目標については1割程度の達成率であるが、コロナ禍でできる範囲での普及啓発活動にも取り組んでいる。

(課題・問題点) 具体的にどのような普及啓発活動を行ったのか、特に第3次計画に定められた取り組みの「受診率が低い男性への啓発を図る」について、記載してほしい。男女共同参画の視点からいうと、検診の受診率だけでなく、男女がお互いの身体のことや健康について理解し合えるような啓発活動にも力を入れるべきではないか。

重点評価事業
--------

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
---

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	2	1…不十分である 【50%未満】

総合評価とその判定理由
-------------

<input type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象の見直しが必要 (達成度3割以下)
--	--	---

・コロナ禍においても、一定の成果をあげていると評価できる。  
 ・受診率は過去の受診率と比べ大幅に減少していないので、コロナ禍の影響と捉えないでよいと思う。申し込みブースの設置についても密にならないように工夫すれば可能と思われる。  
 ・コロナ禍でできる範囲での啓発活動をしたようだが、もっと他の方法も考えてみた方がよい。会場の安全や交通手段等、安心して受診できる環境も検討すべき。  
 ・計画の実施に関しての工夫はみられるが、受診率が低い。(市で実施している以外で、がん検診をしている方もいるので、実際にはもっと数値は上がると思うが)  
 ・ガン検診の受診率は全国的に、国の目標値に比べてひどく低いとは聞いているが、茂原の受診率は全国平均と比べてどうなのか知りたい。それによって評価を変えたい。

改善策等の提言
---------

・がん検診の数値目標は達成しているが、男女共同参画の視点からは、検診の受診率だけでなく、具体的な活動方法で取り組まれない。  
 ・受診率の低い男性へ啓発を図る旨記載されているが、本資料には男女別の受診率の記載がないので、状況が分かりにくい(男女別のデータも示されたい)。男性への啓発については、その具体的な方法について工夫することが望まれる。  
 ・広報やウェブサイト等を活用して、受診による効果、がんの早期発見件数や検診による早めの治療で、病状悪化にストップをかけられた症例の紹介などをすることで関心が高まるのでは。  
 ・コロナ禍で実際にできる啓発活動が減ってしまったと思うが、推進委員が提言しているように、男女がお互いに健康のことに関して理解しあえるよう力を入れて欲しい。  
 ・社会環境が大きく変化している今、検診の時のコロナ対策等をより充実してほしい。また、コロナ差別の啓蒙活動を検診の機会に行うことも検討されたい。  
 ・推進委員会が提案しているように、年代別に男女の身体がどう変化するのか、比較してわかるような啓発・講座等を開催してはどうか。  
 ・65歳以上はマンモグラフィー検査以外の選択肢はないのか。コストが低く、精度が高く痛みもない乳がん検診技術が開発されていると聞いているが、どうなのだろう。  
 ・検診を受けられる場所を増やして欲しい。  
 ・受診者について医療機関との情報共有、他で受診した人はその旨を報告してもらおうなどして、受診した人の数とその内何%の人にがんが発覚したかを明らかにし、受診率アップに努められたい。

C  
H  
E  
C  
K  
(評価)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	56	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	人生の各段階に応じた健康相談と家庭訪問の実施	主要課題	V-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	V-2(1)生涯を通じた健康支援

A C T (改善)	<b>R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>夫婦で参加できるセミナーについては企画及び周知方法の検討し実施する。</li> <li>思春期保健教室では、一貫した思春期教室の実施と、実施校を増やし、生徒たちへの相談先の周知を図る。</li> <li>健幸フライデーでは参加者が固定化しているため、参加者を入れ替え制にすることでより多くの人に参加できるようにし、地域での運動習慣普及に繋げる。</li> </ul>

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた具体的取り組み計画</b>				
	生涯健康に関して安心して過ごせるよう、妊娠期から高齢期の各々の状態に応じた健康相談や家庭訪問を行う。困難事例に対しては、他団体・他機関と連携をとり、支援する。				
	<b>第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)</b>				
	<b>R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>①妊娠から出産まで一貫した母子保健サービスを地区担当保健師を中心として実施する</li> <li>②生涯を通じ、自己の健康を適切に管理・改善するための健康教育・健康相談を行う</li> <li>③電話・面接・家庭訪問を通じてあらゆる世代の人々への健康支援を推進する</li> </ul>				
	<b>R2年度の数値目標</b>	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)

D O (実施)	<b>R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)</b>				
	<b>内容</b>	<b>回数</b>	<b>参加者数(男女別)</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>①妊娠期から3歳児健診までは、地区担当保健師が一貫した支援が行えるように健診事業に加え、訪問等で支援を行った。また、感染症対策のため、オンラインによる面接等も行った他、必要時関係機関と連携し、助産師との同行訪問も行った。</li> <li>②(1)助産師相談(2)ままのわ、ままのわミニセミナー、オンライン離乳食セミナー(3)出前講座(4)いきいきサロン(5)健幸フライデー(6)思春期教室(7)定例栄養相談(8)定例歯科相談 以上の事業を実施し、各ライフステージに応じた専門職による健康支援を行った。</li> <li>③電話延1,401人(母子1,019、成人382)、面接延448人(母子360、成人88)、訪問延660人(母子570、成人90)実施。</li> </ul>	②(1)年18回(2)年15回(3)年7回(4)年4回(5)年7回(6)年9回(7)年10回(8)年10回	②(1)60人(男11人女49人) (2)128人(男15人女113人)(3)216人(4)63人(5)延131人(男20人女125人)(6)557人(7)223人(8)56人		
	<b>R2年度の数値成果</b>	H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
	<b>R2予算額(千円)</b>	<b>R2予算額(再掲の場合)</b>	<b>R2決算見込額</b>	<b>R3予算額</b>	
932		329	752		

C H E C K (評価)	<b>【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 新型コロナウイルス感染症対策として事業や教室を中止し、計画通りに実施ができなかった。また、実施した事業についても定員数を減らしたので、参加者数が減少している。訪問件数には接触することを恐れ減少したが、電話での相談件数は増加した。今年度よりオンラインを活用した教室や相談事業を導入し、受講者が安心して参加できる環境を整えることができた。 妊娠期から出産1年未満については各種相談事業や教室、訪問指導、オンライン相談等を通し、きめ細やかな支援を行った。思春期教室においては、各学校のニーズに合わせた内容で実施し、初めて特別支援学級にも実施することができた。成人・高齢者については、年々参加者の増加している健幸フライデーに、多くの方が受講ができるよう参加回数を一人3回と制限し、ご当地体操や健康に関するミニ講話だけでなく、防災講話も実施した。いきいきサロンについては希望団体のみ実施し、その他の団体にはフレイル予防のリーフレットを配布し、健康寿命の延伸のための周知を行った。 (課題・問題点) 新型コロナウイルス感染症の影響により、妊産婦から成人・高齢者含め、あらゆる世代の人々が孤立しやすい状況となっており、不安が高い傾向にある。また、運動の機会が減り、特に高齢者では健康被害が生じているため、感染症対策を講じながら継続的な支援ができるよう工夫していく必要がある。

A C T (改善)	<b>担当課による、次年度における取り組み予定</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策を講じながら実施ができるよう教室や事業の内容を見直し、あらゆる世代の人々の健康の維持増進を図る。</li> <li>孤立化しやすい妊産婦に対しては、オンライン等を活用しながら相談業務を充実させ、不安軽減を図る。</li> </ul>

<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
(評価の根拠) コロナ禍で全体的に実施数は減少したが、オンラインを活用して教室を開催したり、相談事業を実施したり、できる範囲で取り組んでいる。		
(課題・問題点) 引き続き、男性参加者の増加促進に努められたい。		
<b>重点評価事業</b>		
<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	<b>3</b>	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	<b>3</b>	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	<b>3</b>	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	<b>3</b>	1…不十分である 【50%未満】
<b>総合評価とその判定理由</b>		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でもオンラインを活用したり電話での相談件数を増したりと工夫模索し、できる範囲で取り組んでいる。</li> <li>・令和2年度当初の目標が記載されていないため、達成度が明確でない。</li> </ul>		
<b>改善策等の提言</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性の参加促進に向けた取組が望まれる。</li> <li>・定量的ではなく定性的でもよいので、具体的な施策の年度目標を明確にすることが望まれる。</li> <li>・感染防止対策の経験も積み、また、ワクチン接種も進んでいるので、今年度は、活動の拡大が望まれる。また、オンラインによる業務の拡大も併せ、検討されたい。</li> <li>・オンラインの活用が難しい妊産婦や高齢者に対しては、電話相談や家庭訪問による相談も充実されたい。</li> <li>・コロナ終息後は過去の形式に戻るのか、コロナ後も新しい形式で継続すべきメリットがあると考えているのか知りたい。</li> <li>・担当課が課題としてあげているように、コロナ禍であらゆる世代が孤立しやすくなっている。精神的・肉体的にも健康障害が生じないよう、継続的な支援を続けてほしい。</li> <li>・事業番号55、56に共通するが、生涯を通じて男女は異なる健康上の問題に直面することに男女とも留意する必要がある。「リプロダクティブ・ヘルス・ライツ(性と生殖に関する健康と権利)」の視点を持って、もう少し企画を考えて欲しい。</li> <li>・ここでいう健康支援とは、健常者に対しての健康づくり推進と疾病予備軍の生活改善を主として対象ととらえていいのか、疑問を抱いた。</li> </ul>		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	57	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	市民参加の健康づくりの推進	主要課題	V-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	V-2(1)生涯を通じた健康支援

A C T (改善)	<b>R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲</b>
	3年任期の初年度なので、健康生活推進員活動に必要な知識と技術の習得ができるよう支援していく。また、健康生活推進員の活動意義を見い出せるよう、健康生活推進員相互の親睦を図りながら、健康生活推進員活動が自主性をもって積極的に行われるよう支援をしていく。研修会10回、普及活動22回を予定。

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた具体的取り組み計画</b>
	市民が自主的に健康管理に努め、市民参加型の健康づくりを推進するため、地区組織である健康生活推進員の育成に努める。健康生活推進員により、乳児から高齢者まで様々なライフステージを対象とした健康づくり料理教室、食育教室、運動教室、ウォーキング教室等を開催し、正しい健康知識の普及活動を積極的に行う。

**第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)**

(46) 健康教室等の開催回数	550回以上(年110回以上)
(47) 健康教室等の参加者数	延べ5,500人以上(年1,100人以上)

**R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入**

- ①「グー・パー食生活と運動習慣の定着で健康づくり」を活動目標に、健康生活推進員としての知識と技術を習得する為の研修会を10回/年実施する。
- ②運動・ウォーキング教室11回、各種料理教室11回の普及活動をとおして、習得した知識と技術を普及し、市民の健康づくりをサポートする。

<b>R2年度の数値目標</b>	<b>H28(参考)</b>	<b>H29(参考)</b>	<b>H30(参考)</b>	<b>R1(参考)</b>
(46) 健康教室等の開催回数	年110回以上	(46) 年110回以上	(46) 年110回以上	(46) 年110回以上
(47) 健康教室等の参加者数	年1,100人以上	(47) 年1,100人以上	(47) 年1,100人以上	(47) 年1,100人以上

**R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)**

内容	回数	参加者数(男女別)
①市民がより健康で元気になるために生活習慣病の予防～グー・パー食生活と運動習慣の定着で健康づくり～を目標に、健康生活推進員としての知識を身につける研修会を実施。(書面開催も含む)	①6回	①218人 (男49人、女169人)
②普及活動としてウォーキング教室、健康教室、食育教室を開催。	②5回	②101人 (男42人、女59人)

<b>R2年度の数値成果</b>	<b>H28(参考)</b>	<b>H29(参考)</b>	<b>H30(参考)</b>	<b>R1(参考)</b>
(46) 健康教室等の開催回数	11回	(46)未回答	(46)年141回	(46)年151回
(47) 健康教室等の参加者数	319人	(47)未回答	(47)年1,352人	(47)年1,166人
<b>R2予算額(千円)</b>	<b>R2予算額(再掲の場合)</b>	<b>R2決算見込額</b>		<b>R3予算額</b>
630		630		630

**【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点**

C H E C K (評価)	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上) <input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割) <input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) コロナ禍で研修会、教室とも開催を中止した回もあり、計画通りに事業を実施することはできなかった。しかし、研修会の書面開催や感染症対策を講じながら教室を開催するなど、少ない回数ながら知識の習得と普及に取り組むことができた。 (課題・問題点) 参加者の男女比を見ると、昨年より男性の割合が増えているが、まだ少ない状況となっている。男性の参加者を増加させる取り組みが必要である。

**担当課による、次年度における取り組み予定**

次年度は3年任期の2年目であるが、今年度は計画通りに事業を実施できなかった。そのため、次年度も活動に必要な知識と技術の習得ができるように支援する。また、推進員同士の親睦を図りながら、活動意義を見出し、自主性を持って積極的に活動が行われるように支援する。研修会11回、普及活動19回を予定。

<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<p>(評価の根拠) コロナ禍で全体の開催数は減少したが、研修会の書面開催等工夫して開催できている。参加者の男性割合が増加している。</p> <p>(課題・問題点) 引き続き、男性参加者の増加促進に努められたい。</p>		
<b>重点評価事業</b>		
<b>【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
<b>項目評価基準</b>	<b>評価</b>	<b>【項目評価基準】</b>
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】
<b>総合評価とその判定理由</b>		
<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input checked="" type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
<p>・研修会の開催回数と普及活動については目標の5割であるのに、教室の開催回数は1割程度と低い。</p> <p>・コロナ禍のため、健康教室については当初目標をかなり下回る実績であったが、研修会の書面開催や感染症対策を講じながら教室を開催するなど、工夫・努力し、男性の参加も増加させ、概ね達成できている。</p> <p>・男性の参加者の増加の要因も模索し、一層の男性の参加者増加に努力されたい。</p> <p>・健康生活推進員を育てる努力をしている。</p>		
<b>改善策等の提言</b>		
<p>・昨年のコロナ禍においても工夫して施策が展開されていたが、今年度は、感染防止対策の経験も積み、また、ワクチン接種も進んでいるので、引き続き感染防止に留意しつつ、健康教育についての活動の拡大が望まれる。その際、1次評価に記載されているよう、男性の参加者を増加させるよう具体的な工夫が望まれる。</p> <p>・他自治体がやっているような、いつでも視聴できるオンライン開催を用意すれば、高齢者から子供までより多くの人に利用してもらえるのではないかと。そのようなものを作成することで、ボランティアの講師の方々の利益にも刺激にもなるのでは。</p> <p>・生活習慣に悩みのある30～40代の世代を対象にオンラインの研修会や、SNSの活用を試みては。</p>		

CHECK (評価)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	58	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	スポーツを通じての健康増進	主要課題	V-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	体育課 体育振興係	施策の方向	V-2(1)生涯を通じた健康支援

A C T (改善)	<b>R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲</b>
	実施拠点である市民体育館が大規模改修工事による閉館に伴う事業の一部に中止もあるが、屋外や代替会場での開催等を検討し、次期続き事業促進を図っていく。

P L A N (計画)	<b>第3次計画に定められた具体的取り組み計画</b>				
	生涯スポーツの観点に立ち、市民誰もが参加できるスポーツ・レクリエーションの普及に努める。また、市民がスポーツによる楽しさや爽快感と市民相互の連帯感の醸成などの精神的充足感を得ることができるよう、事業の充実に努める。開催にあたっては、土日や夜間に開催するなど、男女がともに参加する機会の確保に努める。				
	<b>第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)</b>				
	(48) スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数 700回以上(年140回以上) (49) スポーツ・レクリエーション教室等の参加者数 延40,000人以上(年8,000人以上)				
	<b>R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入</b>				

①茂原市スポーツ推進計画の基本理念「市民ひとり1スポーツ」に基づいた様々な事業を開催し、年齢や性別を問わずに、誰もが気軽にスポーツを実施する機会を構築する。②競技性のあるスポーツに限らず、健康づくりや体力づくりを主とした事業を実施するため関係部署と連携を図る。

<b>R2年度の数値目標</b>	<b>H28(参考)</b>	<b>H29(参考)</b>	<b>H30(参考)</b>	<b>R1(参考)</b>
(48) スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数 140回以上 (49) スポーツ・レクリエーション教室等の参加者数 8,000人以上	(48) 140回以上 (49) 8,000人以上	(48) 140回以上 (49) 8,000人以上	(48) 140回以上 (49) 8,000人以上	(48) 140回以上 (49) 8,000人以上

D O (実施)	<b>R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 有・無)</b>				
	<b>内容</b>	<b>回数</b>	<b>参加者数(男女別)</b>		
	新型コロナウイルス感染症拡大防止により予定していた事業がすべて中止となった。				
	<b>R2年度の数値成果</b>	<b>H28(参考)</b>	<b>H29(参考)</b>	<b>H30(参考)</b>	<b>R1(参考)</b>
	(48) スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数 ※開催中止 (49) スポーツ・レクリエーション教室等の参加者数 ※開催中止	(48)128回 (49)9,679人	(48)120回 (49)10,686人	(48)115回 (49)10,339人	(48)94回 (49)7,109人

<b>R2予算額(千円)</b>	<b>R2予算額(再掲の場合)</b>	<b>R2決算見込額</b>	<b>R3予算額</b>
7306		4977	8127

C H E C K (評価)	<b>【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点</b>		
	<input type="checkbox"/> A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input checked="" type="checkbox"/> C:事業の対象や見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) スポーツ・レクリエーション教室等は集まること前提の活動なので、何も実施できなかった。 (課題・問題点) 人数制限や検温、開催日2週間前からの健康チェックなどの感染症対策の実施やオンラインでの開催など、コロナ禍での事業実施に向けて、事業内容の検討を行う必要がある。		

A C T (改善)	<b>担当課による、次年度における取り組み予定</b>
	コロナ禍により、実施検討が必要とされる状況下ではあるが、実施可能な限りで取り組んでいく。

<b>【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等</b>
--

- A:十分な成果を上げた  
(達成度8割以上)
  B:ある程度の成果をあげた  
(達成度4割～7割)
  C:事業の対象や見直しが必要  
(達成度3割以下)

(評価の根拠) 何も実施できていない。

(課題・問題点) 家でできる運動のオンライン動画を配信する等、代替案を検討されたい。

### 重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	1	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	1	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	1	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	1	1…不十分である 【50%未満】

### 総合評価とその判定理由

- A:十分な成果を上げた  
(達成度8割以上)
  B:ある程度の成果をあげた  
(達成度4割～7割)
  C:事業の対象や見直しが必要  
(達成度3割以下)

新型コロナの影響により、人が集まり集団でのスポーツレクリエーションが開催できなかったことは理解できる。しかし、中止のみでなくほかの方法の模索などの努力が見られない。社会状況を把握し臨機応変な活動を工夫すべきではなかったか。

### 改善策等の提言

・コロナ禍により社会全体の活動が縮小している中、男女とも運動の必要性が高まっており、本事業の必要性は高まっていると考えられる。感染防止対策の経験も積み、また、ワクチン接種も進んでいる状況に鑑み、コロナだから実施できないという対応ではなく、方策を工夫して実施することが望まれる。また、市民体育館が閉館されているが、ACT(改善)に記載されているよう、屋外・代替施設での開催を実施するよう具体的に努力することが望まれる。その際、男女とも楽しんで参加できるようにされたい。  
 ・家でできるオンライン動画を配信するという案はいいと思う。オンラインが不可能な高齢者等のことも考えて欲しい。地域(狭い範囲)でのラジオ体操を実施しているところもある。(自治会、同好会)  
 ・少人数、屋外等、感染予防に配慮できる事業を企画しては。ワークアウトに特化したSNS(STRAVA等)を活用し、ランニングやサイクリング等、一人でも楽しめるスポーツイベントの企画し、コロナ禍で非対面でも自身の成果を共有できることにより、参加者の健康増進、体力増強、モチベーションのアップに繋がると思う。  
 ・睦沢町ではアプリ(むつざわさん歩)を導入し、万歩計機能もあり、歩いた歩数でポイント加算になったり、各健康教室や健康づくりの行事に参加するとポイントになるものを使用して普及を図っている。団体での活動もコミュニケーション等の意味合いで大切ではあるが、日常生活の中に運動習慣を取り入れる工夫も必要と考える。スポーツ弱者も楽しめる「ゆるスポーツ」が幅広い対象者で楽しめるのではないか。

CHECK (評価)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	60	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	安心して妊娠・出産するための支援	主要課題	V-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	V-2(2)安心して妊娠・出産できる環境づくり

A C T (改善)	R1年度末における次年度における取り組み(予定) ※R1年度報告書より再掲
	引き続き助成対象となる夫婦に対して正確な情報を提供することに努める。

P L A N (計画)	第3次計画に定められた具体的取り組み計画				
	子どもを産み育てたいという希望を持ちながら子どもが出来ない夫婦に対し、特定不妊治療等に要する費用の一部を助成することにより当該夫婦の経済的負担軽減を図り、安心して妊娠・出産ができるよう支援する。				
	第3次計画に定められた数値目標(第3次計画実施期間5ヶ年(H28年度～R2年度)における目標)				
	R2年度の具体的取り組み計画(年度当初計画) ※箇条書きで具体的に記入				
	①特定不妊治療費から「千葉県特定不妊治療費助成事業による助成額」を差し引いた金額について、10万円を上限として助成する。 ②男性不妊治療(精巣内精子回収術等)を必要とする方について、治療費から「千葉県特定不妊治療費助成事業による助成額」を差し引いた金額について、10万円を上限として助成する。 ③男性不妊検査に係る費用を1万円を上限として助成する。				
R2年度の数値目標		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
①特定不妊治療費助成決定件数	25件	①40件	①30件	①30件	①25件
②男性不妊治療(精巣内精子回収術等)助成決定件数	2件	②2件	②1件	②1件	②2件
③男性不妊検査助成決定件数	1件	③5件	③2件	③2件	③1件

D O (実施)	R2年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 (添付書類 無)					
	内容		回数	参加者数(男女別)		
	①特定不妊治療費助成: 34件(令和2年2月末助成決定件数) ②男性不妊治療費助成(精巣内精子回収術等)助成決定件数: 0件(令和2年2月末助成決定件数) ③男性不妊検査費助成: 1件(令和2年2月末助成決定件数) ④広報もばら、市公式ウェブサイトにて制度の周知を行った。また、県の助成窓口である長生健康福祉センター(保健所)にチラシの設置を依頼した。					
	R2年度の数値成果		H28(参考)	H29(参考)	H30(参考)	R1(参考)
	①特定不妊治療費助成決定件数 34件 ②男性不妊治療(精巣内精子回収術等)助成決定件数 0件 ③男性不妊検査助成決定件数 1件		①30件 ②0件 ③2件	①31件 ②0件 ③4件	①28件 ②0件 ③2件	①30件 ②0件 ③6件
R2予算額(千円)		R2決算見込額		R3予算額		
2,620		3,368		3,120		

C H E C K (評価)	【1次評価】担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	<input checked="" type="checkbox"/> A: 十分な成果を上げた (達成度8割以上)	<input type="checkbox"/> B: ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)	<input type="checkbox"/> C: 事業の対象の見直しが必要 (達成度3割以下)
	(評価の根拠) 特定不妊治療費助成については、数値目標を達成した。男性不妊検査費助成については、数値目標程度の助成決定であった。なお、男性不妊治療費助成については、申請が無かった。 (課題・問題点) 不妊に悩む夫婦が経済的な理由で子どもを持つことを諦めることの無いよう、引き続き制度の周知を行う。		

A C T (改善)	担当課による、次年度における取り組み予定
	引き続き、助成対象となる夫婦に対して正確な情報を提供することに努める。また、令和2年度第三次補正予算により、県の費用助成が拡充されたため、幅広く費用助成を行いたい。

【2次評価】推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等
--

- A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)       B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)       C:事業の対象の見直しが必要 (達成度3割以下)

(評価の根拠) 数値目標を達成している。

(課題・問題点) 引き続き周知に尽力されたい。数値目標が助成決定件数で設定されているが、これは多ければ多いほどいいというものではないと思われるので、見直した方がよい。

**重点評価事業**

**【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点**

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

**総合評価とその判定理由**

- A:十分な成果を上げた (達成度8割以上)       B:ある程度の成果をあげた (達成度4割～7割)       C:事業の対象の見直しが必要 (達成度3割以下)

・数値目標を達成しており、その点においては、情報提供が効果的になされていると評価できる。  
 ・女性は不妊に関して相談しやすいが、男性の相談する環境がどのくらい整っているか、知られていないように感じられる。

**改善策等の提言**

- ・数値目標の見直しが必要である。(助成決定件数が多いことが良いわけではない)
- ・数値だけでなく、周知や環境整備の努力もして欲しい。広報もばら、市公式ウェブサイトその他、産婦人科医院や保健センター等にもチラシの設置をされたい。
- ・情報提供がいかに正確に行われているかという視点でも評価ができるため、どのような情報提供を行ったか、助成決定に至らなかったものも含めて申請件数がどれくらいあったか記載して欲しい。
- ・数値目標(助成決定件数)は達成されているが、決算見込額が予算額の1.29倍となっている。しかし、令和3年度予算は令和2年度決算見込みより低く設定されている。助成決定件数を目標にして実績を上げようとする、結果的に予算額を上回る事が今後もありうる。
- ・費用の助成額がアップされることを願います。
- ・利用者アンケート等を実施し、制度を使いやすくする工夫ができるかもしれない。
- ・現行の助成のみに取り組むのではなく、先進自治体を参考にして、制度の確立を目指してほしい。

CHECK (評価)